



学生支援本部プロフィール
Student Support Profile
2023

学生支援本部

CONTENTS

挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・	02	2次支援(イベント関連)・・・・・・・・	24
組織図・沿革・・・・・・・・・・	03	01 名大いこまいセミナー・・・・・・	25
センター紹介・・・・・・・・・・	04	02 Compus (Communication on Campus)・・	26
01 学生相談センター／Student Counseling Center・・	05	03 同郷の会・・・・・・・・・・	27
02 キャリアサポートセンター／Career Support Center・・	06	04 夕方さんぽ・・・・・・・・・・	27
03 アビリティ支援センター／Ability Support Center・・	07	05 就活ミニ講座・・・・・・・・・・	28
1次支援・・・・・・・・・・	08	06 つながるマップ2022・・・・・・・・	29
01 「大学での学び」基礎論・・・・・・・・	09	07 キャリアイベント・・・・・・・・	29
02 カルト勧誘防止対策アニメーション制作・・・・・・・・	10	08 共修プログラム・・・・・・・・	31
03 FD活動・・・・・・・・・・	10	3次支援・・・・・・・・・・	34
04 心の健康アンケート調査・・・・・・・・	11	01 学生支援本部総計・・・・・・・・	35
05 学生支援担当者講習会・・・・・・・・	12	02 学生相談センター・・・・・・・・	36
06 学生対象セミナー・・・・・・・・	12	03 キャリアサポートセンター・・・・・・・・	38
07 就職担当者連絡会の開催・・・・・・・・	13	04 アビリティ支援センター・・・・・・・・	41
08 教育DXの推進・・・・・・・・	14	家族や卒業生との連携・・・・・・・・	42
09 食料支援・・・・・・・・	14	01 ホームカミングデー企画・・・・・・・・	43
10 SNSによる支援・・・・・・・・	15	02 ワタリニフネ(同窓会支援事業)・・・・・・・・	44
2次支援(グループ活動)・・・・・・・・	16	社会貢献他・・・・・・・・	
01 ピアサポート・・・・・・・・	17	01 講義・・・・・・・・	47
02 コレクション自慢の会・・・・・・・・	19	02 講演・・・・・・・・	47
03 ゲームの会・・・・・・・・	19	03 メディア・・・・・・・・	48
04 インドアの会・・・・・・・・	20	巻末付録・・・・・・・・	
05 将棋の会・・・・・・・・	20	学生支援棟案内図・・・・・・・・	50
06 留年生の会・・・・・・・・	20	学生支援本部スタッフ一覧・・・・・・・・	51
07 居場所の提供・・・・・・・・	21		
08 キャリアランチ交流会・・・・・・・・	21		
09 ステップバイステップ・・・・・・・・	21		
10 大人の勉強 benkyo会・・・・・・・・	22		
11 作文教室・・・・・・・・	22		

表紙・挿絵

中垣内千晶(名古屋大学大学院情報学研究科博士後期課程)

ご挨拶

学生支援本部長 佐久間淳一



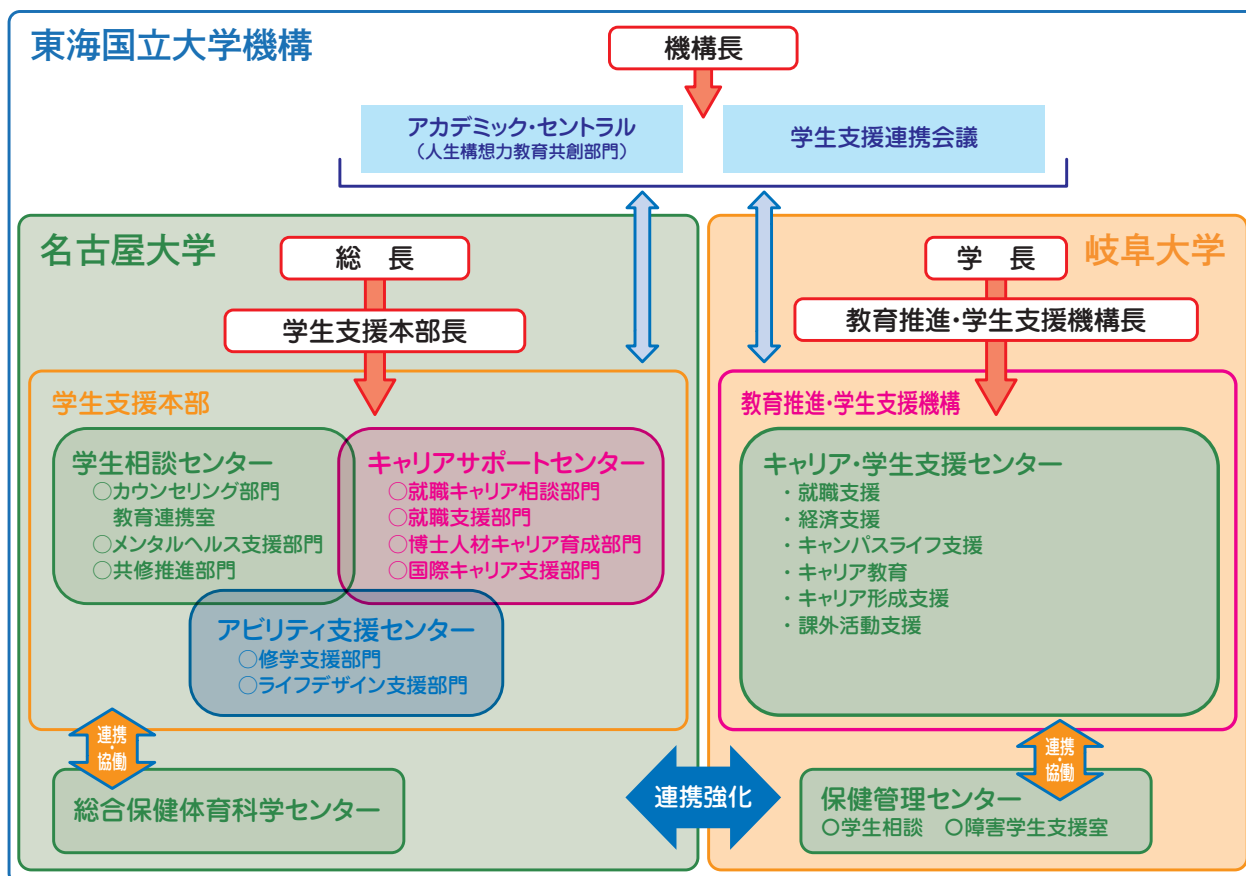
名古屋大学学生支援本部は、学生支援センターを改組し、2021年4月1日付で設立された新組織で、今年度は発足3年目ということになります。もともと、学生支援センター自体、2019年4月に設置されたばかりの組織でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大が学生の心身の健康に深刻な影響を及ぼす中で、学生支援の重要性、とりわけ一次支援を強化する必要性があらためて認識されるに至ったことから、学生支援体制の一層の強化を企図して、更なる改組が行われることとなりました。この間、2020年4月には東海国立大学機構が設立されましたが、この改組によって、学生支援における岐阜大学との連携にも、一層強力な体制で臨めることとなります。

国立大学法人法第22条には、国立大学法人の業務として「学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと」が二番目にあげられています。本学でも、以前より学生に対する相談や援助への取組は積極的に行っており、学生支援センターの前身に当たる、2001年設立の学生相談総合センターでは、学生相談部門、メンタルヘルス部門、就職相談部門、障害学生支援室が連携しながら学生対応ならびに支援に当たってまいりました。しかし、近年は、来談学生が増加するとともに、相談内容も多様化する傾向があったこと、また、留学生の増加に伴い、日本人、留学生を問わず、適切な支援を提供する必要性が高まったことなどから、部門間及び留学生受入部門との連携を強化する必要が認識されるようになり、それを受けて設置されたのが、学生相談・共修推進室、キャリアサポート室、障害学生支援室の3つの室から構成される学生支援センターです。学生支援センターをさらに学生支援本部に改組するに当たり、学生相談・共修推進室は学生相談センターに、キャリアサポート室はキャリアサポートセンターに、そして、障害学生支援室はアビリティ支援センターに変わりましたが、「室」から「センター」への名称変更は単なる看板の架け替えではありません。学生支援本部では、各センターがセンター長の指揮の下、より自律的、機動的に現実のニーズに対応することができるようになる一方で、名古屋大学副総長が兼務する本部長が現場を代表する副本部長と共に3つのセンターを統括することによって、入学から卒業まで一貫して学生を支援することが可能となりました。こうして生まれた学生支援体制は、20年来の歩みの一つの到達点と言うことができます。なお、障害学生支援室は、障害に配慮するだけでなく、多様な学生が個性を発揮し、生涯にわたるウェルビーイングの向上につながる支援を実現するという意味合いから、「アビリティ支援」センターに改称しました。また、学生支援本部内に置かれた共修推進部門では、留学生受入部門と学生支援本部の連携強化に取り組むとともに、留学生と日本人学生の共修推進に向けた各種プログラムを企画、運営しています。

学生支援センターが学生支援本部に改組されて、学生支援の強固な足場ができたとはいっても、学生支援本部だけで、学生が必要とする支援のすべてを行えるわけではありません。学生が所属しているのはそれぞれの部局であり、学生の状況を直接知り得るのは部局の教員です。悩みや不安を抱えた学生が直接学生支援本部に相談に来る場合もあるでしょうし、また、学生支援本部では、相談に来ない学生の中から実際には悩みや不安を抱えている学生を見つけるための取組も行っていますが、部局及び部局の教員の協力なしで、学生の実情を十分に把握し、一次支援を強化することは困難です。そのため、学生相談センター内に教育連携室を設け、部局との連携強化にも取り組んでいます。他方、学生が悩みや不安なく勉学や研究に取り組めることは学習や研究の成果につながるわけですから、学生の学びの場としての大学にとって、学生支援の充実には教育の高度化や研究の振興と並ぶ重要課題であることを、大学としてあらためて認識することも肝要です。

このように、学生支援は、それをもっぱら担当する組織だけが担うのではなく、全学的な方針の下、学生支援組織と部局が手を携えつつ大学全体で取り組んでいくものでなければなりません。大学には様々な組織がありますが、その中でも重要課題を担う組織は、「本部」なり「機構」なり、それに相応しい名称を持っています。ですから、一昨年度の改組によって、学生支援を担う組織の名称に「本部」が入ったことは、本学における学生支援の充実、強化に向けた大きな一歩であることは間違いありません。もちろん、時代の流れとともに、必要な学生支援の中身も変わっていきましますし、新型コロナウイルス感染症の拡大が、大学における学生支援のあり方に大きな課題を突きつけたことも確かです。また、新型コロナウイルス感染症は、直接的な影響だけでなく、オンラインが当たり前になるなど、学生を取り巻く環境にも大きな変容をもたらしました。新型コロナウイルスの感染状況もようやく落ち着きつつありますが、たとえ感染拡大が収束しても、すべてがコロナ以前に戻るわけではなく、ポスト・コロナに向けては、コロナ禍における変容を踏まえた学生支援のあり方を模索していかなければなりません。

本プロフィールでは、発足2年目となる令和4年度の学生支援本部の活動状況を紹介しています。学生支援本部では、新型コロナウイルス感染症への対応の経験も踏まえて、学生支援の一層の充実を図ってまいりますので、関係者の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



沿 革

- 1956年 学生部により、週2時間の学生相談が開始される。
- 1964年 学生相談室が設置される(兼任相談員1名)。
- 1970年 学生相談室に助手1名が着任。
- 1971年 保健管理センターが設置され、講師1名(精神科医)が着任。
- 1985年 学生相談室の相談員が2名体制になる。
- 1993年 留学生センター内に指導相談部門が設置される。
- 1997年 学務部厚生課内にて週2回の就職相談が開始される。
- [2000年 文科省「大学における学生生活の充実方策について－学生の立場に立った大学づくりを目指して－」報告。]
- 2001年 学生相談、メンタルヘルス支援、就職相談を統合し、学生相談総合センターが設置される。
- 2004年 就職支援室が設置される。
- 2006年 工学部7号館に本部2号館プレハブ棟より移転。
- [2007年 JASSO(学生支援機構)「大学における学生相談体制の充実方策について」報告。]
- 2010年 障害学生支援室が設置される(職員1名)。
- [2013年 障害者差別解消法成立。]
- 2013年 障害学生支援室に特任講師1名が着任。
- 2013年 10月、国際教育交流センターアドバイジング部門が設置される。
- 2018年 就職支援室からキャリア支援室に名称変更。
- 2019年 学生相談総合センター(教育研究組織)から学生支援センター(運営支援組織)に改組。
- 2020年 工学部7号館から学生支援棟(旧職員クラブ)へ移転。
- 2021年 4月、学生支援センターから学生支援本部(運営支援組織)に改組。
- 2022年 4月、国際機構の国際本部への改組により、国際教育交流センターアドバイジング部門は、グローバル・エンゲージメントセンター支援チームに名称変更。

センター紹介

カウンセリング部門 Counseling Division

- ・カウンセリング部門は、臨床心理士等による学業・進路・対人関係といった学生生活上の悩みや課題について援助・助言を行います。
- ・全学学生のこころの健康や心理的成長について縦断調査を実施し、学生支援に活用しています。
- ・こころの緊急支援を各部門や部局と連携して行います。
- ・個別相談以外にも、各種グループ活動（ゲームの会、読書の会、留年生の会、夕方さんぽ等）を実施し、話すことが苦手な学生に対する支援を提供します。
- ・学生相談サポーターの活動を指導しています。
- ・大学院生や新生を対象とした心理教育を行っています。
- ・教職員を対象としたFDを実施しています。

【相談例】

研究室における対人関係の悩み、友達関係や家族関係の悩み、講義や研究に対する無気力感、不登校や休退学、留年、進路変更、将来の不安、性のこと、しつこい勧誘、など。

教育連携室 Faculty Consultation Office

- ・教育連携室は、3名の臨床心理士／公認心理師が教職員・保護者（家族）専用の窓口として、学生にまつわる問題解決や学生の成長・発達の援助・助言を行っています。
- ・援助に際しては関係者（教職員・家族・各部局・内外の支援者・学生支援本部の各センター）との連携・協働を重視し、そのための支援も行っています。
- ・心理教育・グループ活動
「名太いこまいセミナー」「ウェルネスセミナー」など学生・教職員を対象とした各種心理教育プログラムと、「いこまいプロジェクト」など学生の健康と成長へのチャレンジを支える活動を実施しています。
- ・FD研修・コンサルテーション
部局や研究室を対象とした各種FD研修・コンサルテーションを実施しています。
- ・全学学生のこころの健康や心理的成長について縦断調査を実施し、学生支援に活用しています。
- ・こころの緊急支援を各部門や部局と連携して行います。
- ・研究室環境改善支援事業
2023年度より本学の全研究室を対象とした環境改善活動を実施しています。各研究室ごとに課題抽出と改善の取り組みに向けたコンサルテーション・研修・心理教育実践を展開しています。

【相談例】

学生のメンタルヘルス、不登校、適応、障害、無気力、休退学、留年、進路、指導、大学・研究室における人間関係、チーム・組織活性化、スキルアップに関してなど、学生にまつわることは何でも相談を受け付けています。

メンタルヘルス支援部門 Mental Health Division

- ・メンタルヘルス支援部門は、3名の精神科医が学生の診察、精神療法などを担当し、薬剤の種類は限られますが簡単な処方（保健管理室）も行っています。
- ・保健管理室が行う健康診断を用いたスクリーニングによる早期介入、他の相談部門や外部医療機関との連携によるメンタル相談も行っています。
- ・コレクション自慢の会
それぞれの趣味やコレクションについて自由に語り合うことを通じ、参加者のみなさんの交流を深めていくことを目的とした会を月に一度、開いています。

【相談例】

抑うつ・不安といった症状から、大学へいけない、対人関係の悩みなど幅広いです。学生の他にも、学生の指導にあたる教員および保護者の対応方法についての相談も行っています。

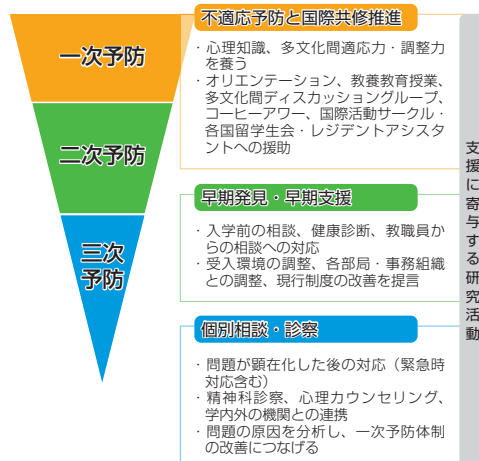
共修推進部門 Inclusive Learning Division

- ・共修推進部門は、国際本部グローバル・エンゲージメントセンター支援チームの専任教員4名が兼務しており、留学生などの国際学生や日本人学生等、多様な文化背景を持つ学生たちと協力しながら、多文化共修・協働環境の整備にあたっています。精神科医による診察や治療、心理士によるカウンセリング、国際教育アドバイザーによる相談、学生組織との連携により、国際学生の新しい環境への適応を支援しています。

【相談例】

精神健康に心配がある、新しい環境に慣れるのが難しい、人間関係に悩んでいる、日本の福祉制度を利用したい、学内外で様々な人々と知り合い交流したいなど。日本語と英語で相談に対応しています。

共修推進部門（グローバル・エンゲージメントセンター） 活動概要



02 キャリアサポートセンター Career Support Center

就職支援部門
Career Support Division

- ・就職活動やインターンシップ、進学に関する相談および情報提供を行います。将来を考えるきっかけを提供すべく低学年から参加できる全学年対象のキャリア支援企画、具体的な就職活動期を支援する就職活動支援企画など時期に適した多彩なイベントを開催しています。
- ・情報提供では、就職資料コーナーを設け、各種ガイドブック、先輩たちの就職活動を記載した就職活動体験記、OB・OG名簿の閲覧、職業適性診断システム（キャリアインサイト）等、就活する学生が自由に活用できるようにしています。また、求人票の閲覧・検索、イベント予約、個別相談予約、進路決定報告の入力、キャリアサポートセンターの来訪企業の確認等ができるシステムを構築し、学生の利便性を図る支援を行っています。

国際キャリア支援部門
International Student Division

- ・外国人留学生に向けた個別就職相談やキャリアランチ交流会（グループ相談）を行っています。日本企業への就職を目指す皆さんが直面する不安や疑問に、丁寧にお応えします。書類添削、面接練習など具体的な就職活動の支援も行っています。英語での相談も可能です。
- ・日本で働くことを希望する外国人留学生に向けて、日本固有の就職活動のしくみや日本の企業文化、ワークルールや社会保険等を学ぶためのキャリア教育を提供しています。
- ・外国人留学生を採用したい企業から集めた「留学生専用求人票」や、外国人留学生に特化したインターンシップの機会を提供しています。
- ・部局における留学生のための就職ガイダンスのご要望も承ります。ご希望の方は、キャリアサポートセンターへお問い合わせください。

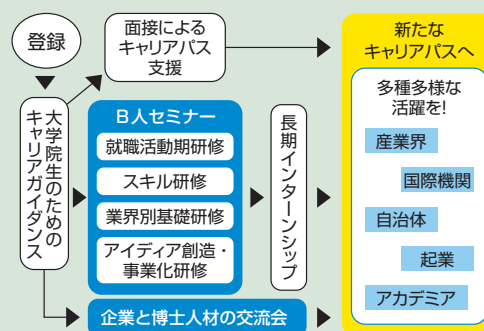
就職キャリア相談部門
Career Counseling Division

- ・3名のキャリアカウンセラーがインターンシップや就職活動上での面接対策やエントリーシートの書き方、企業選択、就職活動の方策から進路に関することまで年間を通じて丁寧に対応しています。また、進学や就職、大学を卒業あるいは修了後の人生に関する悩みや不安、課題などについて、継続的なカウンセリングを行っています。カウンセリングを通じて学生本人が今自分が何をすべきかなど見つめ直す、または新たな発見など社会へ育つ支援を行っています。
- ・学内インターンシップ（ワークエクスぺリエンス）の実施や学外就労支援専門機関と連携し、障害圏域の学生に就業経験を通じて自己理解の醸成や就業への橋渡しも積極的に実施しています。
- ・個別相談以外に、就活サロンやステップバイステップなど、集団相談会やグループワークを開催し、時期や学生の特性に合わせた進路獲得支援を展開しています。
- ・同時に様々な学部・研究科等とガイダンス講義や就職支援講座開催で協同しており、このネットワークを通じて教職員から支援が必要な学生の紹介の輪がひろがっています。
- ・進路決定した学生による就活生支援グループ「就活サポーター」の活動支援・指導を行っています。

博士人材キャリア育成部門
Doctoral Student Division

- ・博士課程教育推進機構キャリア教育室と連動しています。
- ・博士後期課程学生やポスドク（博士人材）や博士後期課程に進学希望の学生を中心としたキャリアパス支援をしています。
- ・キャリアガイダンス、個人面談を中心にして、キャリア形成の講義、セミナー、博士のインターンシップ、企業との出会いの場である「企業と博士人材の交流会」を開催しています。
- ・専門性はもちろん、多様な能力を培ってきたのが博士人材です。アカデミックポディション以外にも、多彩な業界や職で活躍するのを支援しています。

博士人材の支援の流れ



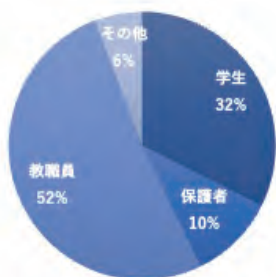
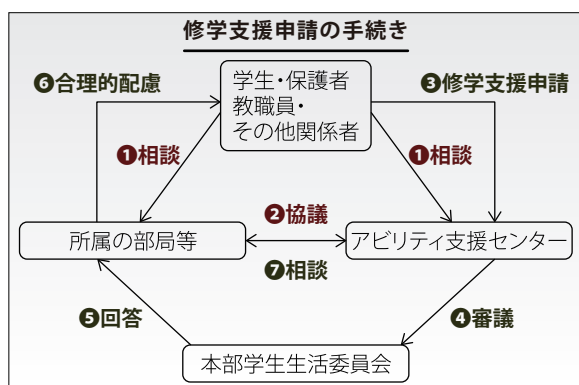
修学支援部門

Academic Learning Division

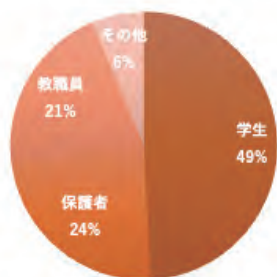
- ・アビリティ支援センター修学支援部門では相談員（准教授、障害者支援専門職、障害学生支援コーディネーター）3名が、障害のある学生と所属部局等を対象に、障害の有無に関わらず、その能力を適切に発揮できるような修学支援にあたっています。
- ・活動の1つは、どの学生にとっても使いやすいキャンパス作りのためのユニバーサルデザイン化を推進することです。もう1つは、それぞれの学生の個別の困難に応じた修学上の調整である、合理的配慮の提供に関する支援を行うことです。
- ・2022年度は、55名（身体障害6名、精神障害20名、発達障害21名、難病4名、その他4名）の学生に合理的配慮の提供が行われました。これまで毎年のように提供数は増え、2022年度は50人を超えましたが、学生数から言えばさらに数が増えると考えられます。また、これまでは発達障害のある学生が半数を占めていましたが、2022年度は4割と減少しています。不安を主訴とする人、難聴の人などが増えました。
- ・修学支援を行う学生サポーターを育成するために、障害学生支援レクチャーシリーズ、修学支援スキル講習会、障害理解を深める映画鑑賞会などを行っています。
- ・また、各部局における障害学生への対応や関わり方についての相談、助言なども行っています。
- ・学生に対する啓蒙として、学生対象セミナーも毎年開催しています。

【相談例】

座席指定、試験時間延長、補助器具使用、資料作成・配布、時間管理や課題の管理、研究上の指導・助言などに関する配慮（調整）、施設改修に伴う助言、など



修学支援相談割合(173人)



修学・ライフ相談割合(63人)

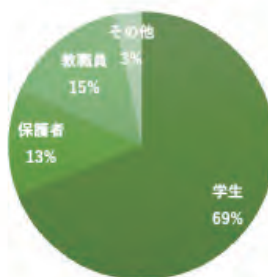
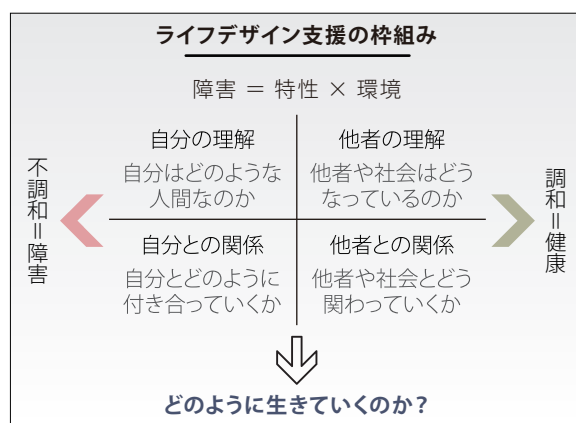
ライフデザイン支援部門

Life Design Division

- ・アビリティ支援センターライフデザイン支援部門は、相談員（准教授、障害者支援専門職、障害学生支援コーディネーター）3名が、障害のある学生の生活に関する問題の支援を行なう部門です。障害のある学生が自分の特性や困難をどのように理解し、どのようにその改善を図るか、あるいはどのような環境を好ましく思うか、それらを踏まえてどのようにして社会の中で生きていくか、といったライフデザインの支援を行います。障害に由来する課題と青年期としての課題との重なり合う状態を、学生個人個人が自分なりに納得できる形でこなしていくことを支えます。
- ・現在行っている活動の1つは、大学生としての学習の仕方を参加メンバーが持ち寄り、共有する、「大人の勉強benkyo会」です。週1回、4、5人の学生が同じ空間で自習し、勉強の仕方について、各自の抱えるテーマについて情報交換をしています。今後、日常生活における困難や生活能力を高めるための工夫を共有する場、自分と周囲の環境、両者の関係性について学ぶ場などを作りたいと思っています。加えて、従来どおりの個別の相談による支援も提供されます。
- ・ライフデザインについての情報発信も行う予定です。たとえばしばしば問題となるスケジュール管理や整理整頓の方法やノウハウ、小技、あるいは周囲の人との意図や前提の食い違いの緩和の仕方といった情報を、誰にとっても役立つ形で発信する予定です。

【相談例】

親子関係、障害特性や性格についての理解や対応、自分に障害があるかどうか、どんな仕事に向いているか、などについて（それぞれ関係他部門との連携をしています）



ライフデザイン相談割合(61人)

1 次 支 援

01「大学での学び」基礎論

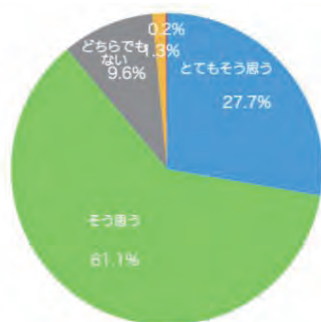
2022年度から全学教育が大きく変わりました。それまでの知識詰め込み型に陥ってしまいがちだった傾向を改めて、学生の主体的学びを重視した質の高い「知」の獲得を目指すものです。その試みの一つをである「大学での学び」基礎論という講義を学生支援本部が担当しました。これは、大学とは何か、大学で学ぶとはいかなることか、大学での学びを充実したものにするにはどのような知恵が必要かについて理解し、主体的な学習者としての態度の核を形成しようとするものです。



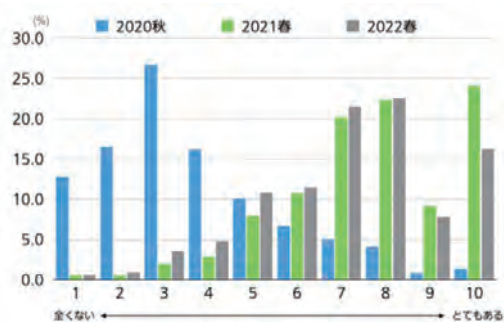
学部新生全員を対象としたこの授業は、8つの科目から構成されています。学生支援本部は「大学の歩き方」という講義タイトルで、対面授業3回を担当しました。内容は、入学直後のクラス活性化を目的とした相互交流やコミュニケーションプログラム、次世代型セルフケアの解説、多様性や共修、ハラスメントに関する講義などです。1回目の対面講義は春学期第1週目に、30名前後で構成されている全58クラスを対象に、スタッフ総出で授業を行いました。入学直後にコミュニケーションプログラムを実施した効果は大きく、「クラスの人々と交流を深めることができ非常に嬉しかったです」といった感想が寄せられていました。この講義は必修科目であることから、入学直後に適応に苦しむ学生を把握することができ、学生支援においても意味のある授業となっています。



これからの大学生活において、この講義は役に立ちそうですか？



授業アンケートより



名大生になった実感

02 カルト勧誘予防啓発アニメーション制作



正体を隠した勧誘を防ぎ、在学契約に基づく安全配慮義務を提供するために、東海国立大学機構はカルト勧誘予防啓発を推進しています。その一環として、予防啓発アニメーションを作成して、カルト勧誘の危険性を自分にも生じうる身近な問題だと捉え直してもらう機会としました。声優は名古屋大学の劇団サークル有志です。

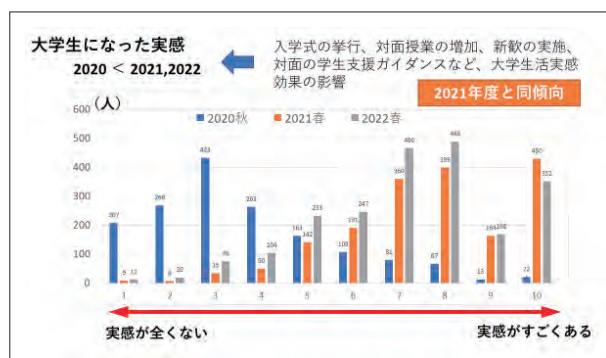
03 FD 活動

令和4年春 学生支援本部FD

コロナ禍の名大生における心の健康
-部局連携のお願い-

- 2021年度学生支援本部利用実績・全員面談実施の効果報告
- 2022年度心の健康に関する調査報告：1年生、2年生以上、院生の特徴
- 学生支援本部の対応と部局連携：参考事例と教育連携室のご案内

学生支援本部 学生相談センター 教育連携室 講師 松本寿弥



対応のまとめ 1

◇望ましくない対応

- 「自殺（自傷）はよくないことだ」
- 「死ぬ気があればなんでもできる」
- 「自殺はしない」「大したことない」と安易に思う
- 大げさにふるまう
- 一緒に落ち込む
- 危険性が高いにもかかわらず、秘密にすると約束する

対応のまとめ 2

◇望ましい対応

- 話してくれたことをねぎらう
- 「死にたい」気持ちを受け止めつつ、「生きたい」気持ちや自殺に代わる解決法を話し合う
- 責めず、評価せず、「あなたの味方」メッセージを伝える
- 沈黙してもいい

2022年度のFDは「コロナ禍の名大生における心の健康一部局連携のお願い」と題して、教育連携室の松本寿弥講師を中心に各部局の教職員を対象に実施しました。このFDは春学期に実施しましたが、2021年度冬に実施した全員面接から約半年が経過していてもなお、その効果が持続しており、部局の先生方のご協力とご尽力に感謝をお伝えしました。14部局と4つの研究施設等、合計755名を対象に実施しました。

04 心の健康アンケート調査

3次支援の学生増に対する1次支援強化策として2019年度からアンケートの充実を図ってきました。2022年度も、2020年度から続くコロナウイルスの流行による学生のメンタルヘルス悪化の懸念と、エビデンスに基づいた支援を行うために、全学生に対して春と秋の2回、アンケートを実施しています。心理的支援の必要な学生には、個別に連絡し、早期支援を行っています。

1. 心理的基盤に関する尺度（項目は一部）

自尊感情「私は、自分自身にだいたい満足している」「自分は少なくとも他の人と同じくらい価値のある人間だと感じている」

人生満足度「私は自分の人生に満足している」

社会的サポート「私には困ったときにそばにいてくれる人がいる」「私には私の気持ちについて何かと気遣ってくれる人がいる」

2. 心理的リスクに関する尺度

抑うつ「好ましくないことを考えてしまい、コントロールできない」「死にたいと考えることがある」

全般性不安「心配していることがたくさんある」「恐怖やパニックに陥ることがある」

3. 発達障害傾向に関する尺度

自閉スペクトラム症（ASD）尺度（AQ）

「私は、あることにとても強い興味を持つ傾向があり、追求することができないと困惑してしまう」

「私は、人の意図を分かるのが難しい」

困り感尺度「衝動的に行動してしまい困る」「グループ活動では居ごちが悪くて困る」

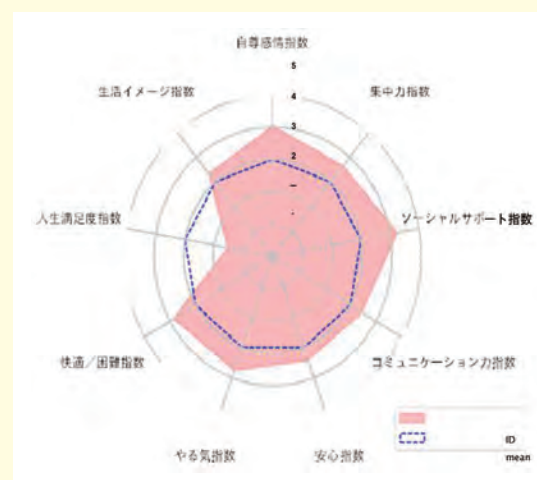
フィードバック学生数（2022年度回答者数）

4月学部新入生1839名

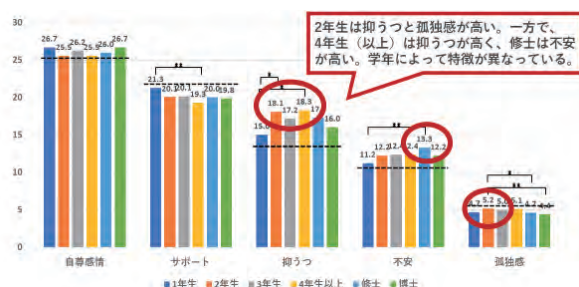
5月2年生以上の学部生528名／大学院生633名

9～10月学部新入生391名／学部2年生以上796名

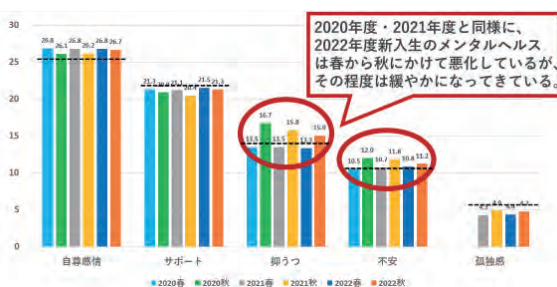
・各学生の結果をレーダーチャートに示してフィードバック



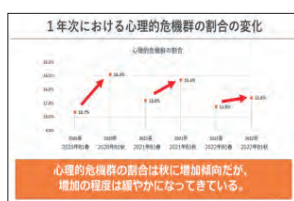
2022年度秋のアンケート結果－学年間比較



1年生のアンケート結果－2020・2021・2022比較



アンケート概要と回収率				
	2022春 新入生	2022秋 学部2年生以上	2022春 新入生	2022秋 学部2年生以上
対象	学部1年生	学部2年生以上	学部1年生	学部2年生以上
対象数	1,839名	528名	1,839名	528名
回収率	86.6%	24.8%	8.2%	5.6%



学部1年生は、概ね2021年度と同様の結果でした。入学時と半年後の比較では、2021年度と同様に抑うつと不安の高まりが示されました。しかしながら、心理的危機群の増加の程度は緩やかになっておきており、新型コロナウイルス流行下の支援の結果が出てきていることが伺われました。社会的サポートは1年生に比して4年生以上が低い結果となりました。

一方で、抑うつ、不安は2年生や4年生、博士前期課程の院生が高いことが示されました。

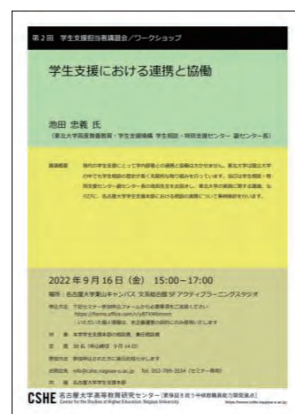
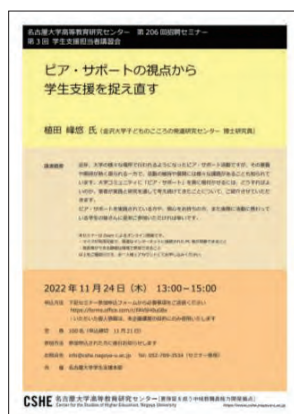
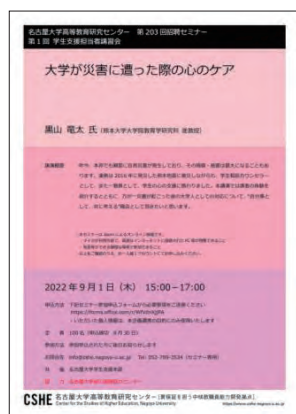
2020年度から全学生を対象にアンケートを実施してきたことによって、心の健康の変化の傾向に関する示唆を得ることができました。特に、2022年度の学部1年生はそれ以前のコロナ禍入学生と比して半年後の抑うつと不安が増加傾向であったものの、その増加の幅が緩やかになっていたことは、今後の希望になると感じています。

05 学生支援担当者講習会

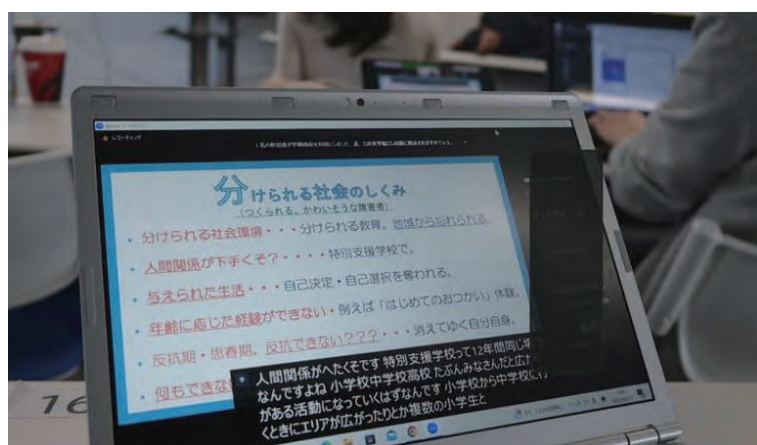
高等教育研究センター「質保証を担う中核教職員能力開発拠点」の取組の一つとして、学生支援本部はセミナーを2回とワークショップを開催しました。第1回のセミナーでは熊本大学の黒山竜太先生より、ご自身が2016年の熊本地震に被災しながら学生支援を行なった経験をお話いただきました。災害によって失われるものも多いけれど、そこから生まれる力があるというお話が印象的でした。第2回のワークショップでは学生支援本部の相談員に対して、東北大学の池田忠義先生に専門家としてのスキルを指導していただきました。第3回のセミナーでは金沢大学の植田峰悠先生より、ピア・サポートとは決して支援する側と受ける側といった上下関係による支援ではなく、同じ大学の構成員としてお互いが対等であって相互作用のある営みとして再定義されるというお話がありました。この定義に基づいて学生支援全体を理解できるようにになれば、大学教育や学生支援活動を全学で取り組む契機となるように思います。



第3回目オンラインセミナーより



06 学生対象セミナー

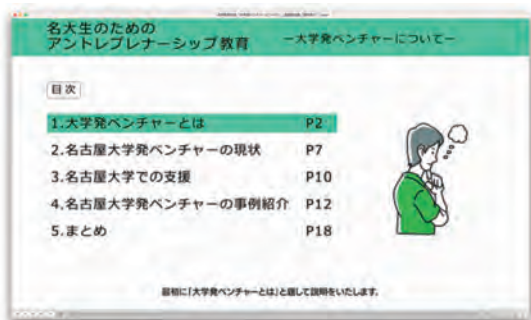


毎年開催している学生対象セミナーは、2021年度より障害学生サポーターairによって企画、人選、コミュニケーション、構成などが主導されています。スタッフは広報や大学の手続きなどでメンバーのサポートをするに留まっています。2023年2月15日に、AJU自立の家の森美親氏を講師に招き、「話の聞き方と障害支援」というタイトルで開催しました。ご自身が障害の当事者である森氏からは、本人の意図を汲むことの重要性が半生とともに語られました。

07 就職担当者連絡会の開催

各学部・研究科の就職担当教職員全員が会する連絡会を年に2回開催しており、2022年度は5月12日と12月15日に開催しました。積極的な就職支援策に取り組む学部・研究科の発表などを全学で共有したり、これから就活に入る学生への支援と同時に進路決定の時期が遅れた学生への支援についてキャリアサポートセンターの取り組みを紹介し、学生への周知依頼を行いました。特にこの連絡会では毎年、当該年の「名古屋大学卒業・修了予定者の就職・採用活動に関する申し合わせ」を全担当者で確認しています。実際に学生を指導する上で生じているインターンシップや学生の就職活動・企業の採用活動などに関する問題に対しても積極的に意見交換が行われています。

08 教育 DX の推進



2022年度は前年度に引き続き、大学の教育DX促進のための予算を使用して購入した機材を用いた、ハイフレックス、オンデマンド配信の支援を行いました。3科目について支援員または学生サポーターが教室まで講義の録画に出向き、2023年度の新入生向けオムニバス講義のオンデマンド教材に字幕をつける作業を行いました。

09 食料支援

2022年度の食料支援では、企業から寄付いただいたカップ麺や、一般の方からの野菜、果物、お米、レトルト食品などを学生たちに配布しました。特に、農家の方からは絶えず寄付をいただき、学生支援本部の玄関先には新鮮な野菜や果物がいつも置かれている光景となりました。このプロフィール表紙は食料支援の風景をモチーフに描かれています。



IO SNS による支援

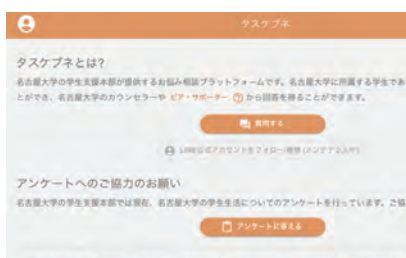
カウンセラー×ラジオ

2020年から2021年の年末年始に、自粛生活でさみしい思いをしている学生のためのラジオ番組として配信を開始しました。パーソナリティを学生相談のカウンセラーが担当し、学生支援本部の企画するイベントの情報だけでなく、留年経験のある学生やグループ活動のファシリテーターをゲストに迎えたりしながら、2022年度は34回のラジオを配信しました。



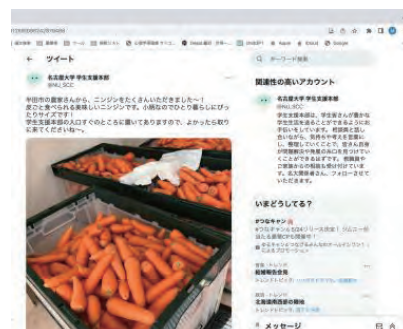
タスケブネ

2021年度より、悩みを相談できるプラットフォームとしてweb上に「タスケブネ」を開発しています。名古屋大学の学生であれば誰でも気軽に相談することができ、対面での相談には抵抗のある学生も匿名で相談ができるものです。学生支援本部のカウンセラーや学生相談サポーターが回答者となり、履修登録をはじめとした各種手続きに関する質問や、心の悩みについて、回答しています。



Twitter

学生支援本部のTwitterアカウントは2017年より開設されていましたが、これまで積極的に活用されることはありませんでした。しかしコロナ感染症の流行により、Web上で情報収集をする学生や家族が増えることが予測されたため、Twitterの更新頻度を増やし、履修登録をはじめとした各種手続き、食料支援や学生支援本部が企画するイベントなどの情報を積極的に発信していきました。さらに、Twitterの質問箱も活用し、各種手続きに関する質問や、匿名だからこそこ話せる悩みなどについてカウンセラーが回答しています。こうした活動を経て、Twitterのフォロワーは2,100名を超え、センターとしての相談の窓口を広げることができています。



2 次 支 援

グループ活動／支援

01 ピアサポート

学生相談サポーター



学生相談サポーターの活動は、2004年にスタートし、今年で19年目を迎えました。サポートメンバーはアドバイザー2名、サポーター12名で、様々な学部・研究科のサポーターとして活動しました。活動時間は毎週水曜日の13時から16時まで、場所は、理学部共用館でした。活動内容は、「個別相談」「つぶやきノート」「ピアサポスト」「こころの処方箋」「学サポブレイリスト」、そして、新たに始めたオンライン相談投稿システムの「タスケブネ」でした。また、新学期に履修相談を実施し、121名の新入生をサポートしました。

就活サポーター



「就活サポーター」は2002年度から活動を続け、進路が決まった卒業期の学生たちがこれから就活に入る学生（プレーヤー）を支援しています。主な活動は、就活生に自分たちの体験を伝えながら相談に対応すること。そのために相談対応やサポーターとしての倫理について研修を通じて学び、サポーターとプレーヤーの双方が安心して対面できる体制を整えています。その他にも自分たちの経験を生かしたグループワーク活動も提供しています。就活サポーターは進路を決定してきたこれまでの活動を振り返り、社会に出て行く自覚を醸成する活動でもあります。設立以来の多くの卒業生との交流や、卒業生自身が互いを刺激しながらキャリアについて考えるネットワークが育っています。今年度もコロナの影響でメイン活動であるキャリアサポートセンターでの対面での相談業務が可能な日はわずかでしたが、oViceによるバーチャルサポールームを作り、オンラインでの活動をサポーター13名で運営しました。

障害学生支援サポーター air あいる



学生サポーターの集まり「air（あいる）」は2010年度から活動をしており、2022年度は女子24名、男子11名の構成となっています。アビリティ支援センターを中心に活動していますが、実際の活動場所はキャンパス内に広がっています。主な活動の1つは、障害のある学生の修学支援の補助ですが、今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大によって思うような活動ができませんでした。それでも、オンラインでの研修や実習を企画し、学生対象セミナーでは学生サポーターが企画を立て、講師に連絡をして、セミナーを開催しました。また、授業の配信動画に字幕をつける作業も行い、新たな活動の形が現れてきました。

airのメンバーはサークルのように、自主的に活動の方向性や内容をミーティングで決め、アビリティ支援センターと協力しながら活動に当たってくれています。最近では、SNSでの意見交換、ミーティング、ニュースレターの発行、手話の勉強会などを熱心に行っています。

障害学生支援サポーターairの集まりの中で、特に人気でair以外の学生にも開かれた活動として「手話deランチ」という自主的な勉強会があります。月に1度、ランチタイムに集まり、日本手話を勉強する集まりです。講師役の学生も先輩から後輩へ引き継がれ、2022年度は「いこまいセミナー」において体験教室を開催し高評価を得ました。災害時など緊急時に必要な手話から、アルバイト先で出会ったら、といった日常場面で役に立つ手話まで楽しく学んでいます。

びあのわ



2023年3月11日・12日に、東京工業大学大岡山キャンパスで開催された「びあのわ2022in東京」に、学サポからはサポーター3名と教職員3名、就サポからはサポーター2名と教職員1名、airからはサポーター2名と教職員1名が参加しました。当日は活動紹介を行い、他大学のサポーターたちと交流を深めることができました。

02 コレクション自慢の会

2022/11/3『古書市への遠足』

今回は、京都の知恩寺の古書市におでかけしてきました。
天候にも恵まりました☀

バスの中でも、参加者の皆さんとお話しをさせていただいたり、クイズ大会をしたり、DVD をみたりと、素敵な時間を過ごすことができました。

到着後は、古書市はもちろんのこと、食事や観光など、皆さんそれぞれの楽しみ方ができたようです。



皆さん、ありがとうございました！

2023/3/15『名古屋カレー屋巡り』

今回は『名古屋カレー屋巡り』というテーマでご発表いただきました。



名古屋のおすすめのカレー屋さんを紹介していただきました☺

名古屋には本場の味が楽しめるようなお店がたくさんあるようです。

ー こちらの写真は発表者さんがご自身で作られたカレーなどなどの料理だそうです。

本格的で、おいしそうで、とても盛り上がりましたね☺

予約がなかなかとれないお店も多いようなので、気になる方は是非調べてみてください！

★★次回のコレクション自慢の会★★

2022/4/19(水) 16:30～18:00

★お楽しみに★

2007年度、学生支援GPの助成金を取得して、学内にて様々な他部局との連携のもとに、主に不登校・ひきこもりなどの停滞傾向の学生を対象とした様々なグループ活動を展開してきました。そのうちの一つが「コレクション自慢の会」です。2011年度以降は、学生支援GPを離れ、学生支援本部・メンタルヘルス支援部門主催の活動として引き継がれています。開催は月1回、2時間で、参加者は15名前後です。コレクションを報告することで、研究室へ復帰していくプロセスが認められます。興味や関心を示すinterestには、人と人との間をつなぐinterが含まれています。コレクションを通したコミュニケーションが学生たちの成長を後押ししています。

03 ゲームの会



ゲームの会は、毎週2時間程度、学生とスタッフがセンターの一室に集まり、ボードゲームやカードゲームを行うグループ活動です。コミュニケーションの苦手な学生や、対人関係を築きにくい学生などを対象に、大学内の居場所機能や対人交流の促進を目的として実施しています。コロナ禍では、オンラインと対面のハイフレックスにより実施しています。また、ボードゲームを行っている、それまで受動的であった学生が主体的に行動するような変化が認められることがあります。中には、オリジナルのゲームを自作してくる学生も現れるなど、ボードゲームを介したコミュニケーションの効果を実感しています。

04 インドアの会



インドアの会は、2019年から開始しました。毎週水曜日の12時から13時までの1時間程度、本、映画、ドラマ、音楽、などなど、インドア派の人が、自由に好きなことをおしゃべりする活動です。2022年度は、44回実施し、延べ51名の学生が参加しました。

05 将棋の会



将棋の会は、2021年から開始しました。毎週水曜日の午後に2時間程度、将棋を愛好する人たちが参加して、対戦をしたり対局を観戦したり、詰将棋を議論したりする活動です。2022年度は、34回実施し、延べ79名の学生が参加しました。

06 留年生の会

留年生の会は、2018年度から開始しました。成績開示後に留年が決まった学生とのカウンセリングの中で、希望者に対して、先輩の留年生から対策講座を行うものです。毎年、半期ごとに開催し、2023年3月には9名の学生が参加しました。

07 居場所の提供



アビリティ支援センターの重要な機能として、居場所の提供があります。事務スペースの前の空間を自習ができるスペースとして、また休憩のできるスペースとして、学生に開放しています。基本的に開室時間（平日10～17時）に滞在可能で、アビリティ支援センターが現在の場所に移転した2020年8月から提供されているものです。常時学生がいるわけではありませんが、多い時には3人程度の学生がテーブルについて、オンライン講義の受講をしたり、課題に取り組んだりしています。支援員も学生の姿が見えやすいため、声をかけやすく、支援の形態として有用であるように思えます。写真奥側の青いパーテーションで区切られた座席は、1人になりたい学生向けのスペースです。障害学生サポーターairの活動もこの空間で行われることから、時には学生同士の交流が生じることもあります。

08 キャリアランチ交流会

キャリアランチ交流会は、毎月2回お昼時間に開催されています。英語の回と日本語の回があります。日本での就職に関心のある国際学生が、就職活動をする仲間の輪を広げ、気軽に話せる機会を提供しています。月ごとに“企業で働くOBの話聞く”“ES対策”“なんでも相談会”などのテーマを設けて開催しています。「日本の就活について基本的なことからわからない」「自分の経験を後輩にシェアしたい」などの話題も歓迎しています。

開催日・配信日	タイトル	開催形態	参加・閲覧人数
4月8日（金）	就活なんでも相談会	オンライン	7名
20日（水）	就活なんでも相談会	オンライン	8名
5月13日（金）	就活なんでも相談会	オンライン	7名
25日（水）	就活なんでも相談会	オンライン	23名
6月10日（金）	インターンシップ	オンライン	13名
21日（火）	インターンシップ・英語	オンライン	1名
7月15日（金）	ビジネスマナー	対面	3名
27日（水）	ビジネスマナー・英語	対面	5名
8月24日（水）	なんでも相談会	対面	6名
9月2日（金）	OBOG交流会	オンライン	18名
28日（水）	OBOG交流会	オンライン	18名
10月14日（金）	先輩のシュエカツを聞こう	オンライン	15名
26日（水）	先輩のシュエカツを聞こう	オンライン	11名
12月9日（金）	就活なんでも相談会・和	対面	0名
1月13日（金）	Entry Sheet対策・ガクチカ	オンライン	13名
25日（水）	Entry Sheet対策・志望動機	オンライン	8名
2月10日（金）	面接対策・日本語	ハイブリッド	10名
22日（水）	面接対策・英語	対面	7名
3月22日（水）	ESなんでも相談会Plus	ハイブリッド	<一部> 対面1名・ オンライン10名 <二部> 対面8名・ オンライン15名



09 ステップバイステップ

ステップバイステップは2011年に、学生からの「進路や就職が気になる人たちと集まってあれこれ話してみたい」という声に答えて始まった会です。毎月1回2時間程度、学生と就職相談員が学生支援本部の一室に集まり、趣味や得意なことを教え合ったり、気になる事を話し合ったり皆で試してみたりと活動しています。参加者の学部や学年はさまざまで、一人で参加する人が多いのが特徴です。少人数のグループですので、自分を表現することが苦手な人もゆっくり落ち着いて楽しむ事ができます。

開催日・配信日	開催形態	参加・閲覧人数	対象者（対象学年等）
4月21日（木）	対面	2名	全学年・既卒者
5月19日（木）	オンライン	2名	全学年
6月16日（木）	対面	2名	全学年・既卒者
7月21日（木）	対面	3名	全学年・既卒者
10月20日（木）	対面	2名	全学年・既卒者
11月17日（木）	ハイブリッド	3名	全学年
12月15日（木）	対面	2名	全学年・既卒者
1月19日（木）	対面	1名	全学年・既卒者
2月16日（木）	対面	2名	全学年・既卒者
3月15日（水）	対面	2名	全学年・既卒者



10 大人の勉強 benkyo 会



自分1人では課題が進められない。
時々話し手が欲しい。
自分に合った学び方が分からない。
気軽に相談もできる自習スペースが欲しい。

そんな人のための居場所です。

大人の勉強benkyo会

学びをHackしよう

申し込み不要・途中入退室自由
全学教育棟C32・oVice(<https://nuasc.ovice.in/>)
毎週水曜日 15時～17時 開催

問い合わせ：アビリティ支援センター
<http://gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp/osd/>
メール：osd@provost.gakuso.nagoya-u.ac.jp

大人の勉強benkyo会は、大学での学びに困り感を感じている大学生を対象に、毎週水曜日15:00-17:00全学教育棟で開催しています。障害のありなしに関わらず、一人一人の認知特性に合った学習法を身につけることを目的とした集まりで、それぞれに課題を持ち寄り自習室として利用もできるかたわら、希望すれば15分程度のミニレクチャーを聞くことができます。内容は、認知特性、レポートの書き方、会話のスキルなどです。学期毎に開催する「勉強法発見ミーティング」という座談会も人気です。

11 作文教室



苦手さんのための作文教室

大人のbenkyo勉強会
2023/03/29
15:00 - 17:00
@ C32 (全学教育棟3F)

いつもレポートは箇条書きになってしまう・・・
書き始めるまでにすごく時間がかかってしまう・・・
こんなことで相談していいの？と迷う必要はありません。少人数グループで専門のスタッフも参加します。一緒に苦手を理由を探り、解決策を考えます。

参加を希望する学生は、以下の準備をお願いします。

「作文が苦手・・・」といった思いで大人のbenkyo勉強会に集まってくる学生に向けて、自己紹介文を400字程度で書いてくること（プリントアウトして持ってきてでもいいし、スマホの画面を読み上げてくれるでもいいです）。

次の点に注意して書いてください。①ここに参加する学生は、学部も学年も異なります。自分が何者か能力が伝わるように、テーマを1～2つに絞って具体的なエピソードを加えながら書いてください。②書く上で苦悩したこと、何が難しかったのか、当日報告してもらいます。

申込・問合せはQRコードから
アビリティ支援センター<osd@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp>まで



大人の勉強benkyo会の学期ごとに開催する座談会では、困りごとで多い「レポートが書けない」という問題に対して、中央図書館で「論文の書き方」講座を担当する教員と、日本文学専攻の博士後期学生を招いて、「苦手さんのための作文教室」と称して相談会を開催した。参加学生はairの学生含め5名で、「基本的な書き方のルールを知らない」「目標設定が高すぎた」と他の学生が同じようなことで悩んでいたと知り、参加して良かったとの感想が聞かれました。



2 次 支 援

イベント関連

01 名大いこまいセミナー

2019年度より名古屋大学の全構成員（学生・教職員）を対象としたグループプログラムとして、「名大いこまいセミナー」を開始しています。このプログラムは岐阜大学で展開されてきたプログラムを参考にしながらも、新しい世界に触れることを目的とした名古屋大学オリジナルのセミナーになっています。2022年度は、国際学生を対象に就職活動の仲間を広げることを目的とした「キャリアランチ交流会」とのコラボ企画や、名古屋大学学生支援本部のピアサポーター（学生相談サポーター・就活サポーター・air（あいる））から活動を通じた大学生活の意義を紹介しました。なおコロナ禍ではオンラインで実施しています。



ピア・サポートとは？

- ピア (peer) = 仲間

⇒名大生が仲間として、先輩として同じ名大の学生をサポートする

どのように返事を考えているの？

返事の流れ

- 1: 投稿してくださったことに感謝する
- 2: 相談者の方の相談内容と気持ちに寄り添う

想像力を働かせて、こんな感じかな、こんな気持ちかな、と考えて伝えてみる

- 3: また気軽に相談してくださいと伝える

活動の概要

座学や実践を通してスキルを習得

- アビリティ支援センターの依頼を受ける
- サポート

手話deランチの体験版

テーマ:日常の中で手話を使う人に出会ったらどうする？

①接客で使える手話
アルバイト中に手話を使うお客さんが来た場合を想定

就活サポーターの効果

学生によりそい、自信をつけさせる。

- ▶ 近年の就活のやり方をよく理解してくれている
- ▶ 就活中に感じた感情や悩み事を鮮明に覚えているので、学生に寄り添える。
- ▶ 同じ背景を持つ名大の先輩が就職出来ている姿を見て自信がつく。（代理的経験による自己効力感の向上）

活動報告

相談事例

- ▶ 5年後・10年後どうなりたいか？という質問に対して、どう答えたらいい？
- ▶ 自己分析どうやってやればいい？
- ▶ 院進か学部卒就職、どっちがいい？

就活以外にもキャリア相談も可能
理系修士院生が多く所属する名大就サバならではの！

02 Compus (Communication on Campus)

東海国立大学機構アカデミック・センラルによる取り組みの一環として、ともに生き生きとした社会を作り出せる人を育むことを目指したコミュニケーション力向上プログラムを2021年度より開始しています。このプログラムでは、話す力、聴く力、協調する力、発案する力など、コミュニケーションに必要な力をインタビューや企画会議、アクティブリスニング体験などのグループワークを通して体験的に学びます。2022年度は9回実施し、延べ189名の学生が参加しました。



開催日	タイトル	開催形態	参加人数
5月11日(水)	出逢い編	対面	名大19名 岐大2名
6月29日(水)	コミュカアップ編	対面	名大47名 岐大3名
8月8日(月)	もっと！コミュカUP編	オンライン	名大29名 岐大3名
11月2日(水)	秋のreboot編	対面	名大28名 岐大3名
11月9日(水)	待望の上級編	対面	名大11名 岐大1名
12月14日(水)	頑張るあなたへ メッセージ編	対面	名大12名 岐大0名
1月7日(土)	楽しく学ぼう！新春コミュカ開花編	対面	名大8名 岐大1名
2月21日(火)	本気でインタビュー！編	対面	名大9名 岐大3名
3月15日(水)	人見知り克服編	対面	名大10名 岐大0名



03 同郷の会

申込不要
当日参加OK

参加費
無料

**名古屋大学
第4回 同郷の会**
4/19 (水) 15:00~16:00
場所：全学教育棟C13教室

☆入学おめでとうございます☆
「一人暮らしがはじまって、わくわくドキドキ！」
「出身地の近い仲間がいたらうれしいな」「友だちをつくりたい」
そんな思いを持ったみなさん、C13教室に集まれー！！

出身の近いグループに分かれて、交流会をします。
同郷の仲間や先輩に出会えるかも・・・
感染対策をして、気軽に遊びに来てくださいねー！

☆学生支援本部Twitterでも情報発信していきます。

新入生の7割以上が東海4県の出身者である名古屋大学においては、高校からのコミュニティを持ち越すことで近隣県出身者の適応は比較的良好です。その一方で、遠方から一人暮らしをスタートさせた新入生にとっては、入学直後の友だち作りがむずかしく、特にコロナ禍においてはそれが顕著でした。2020年度からスタートさせた「同郷の会」は、学部の垣根を越えて、同じ出身地の学生が集い交流できる機会を作るために実施しています。2022年度は4月19日に開催し、47名の学生が参加しました。



04 夕方さんぽ



2022年
11月18日(金)
夕方さんぽ

夕方さんぽは、自分と話をしながら、また色々な人の話を聞きながら、すっきりあたたかい気持ちになるウォーキングイベントです。

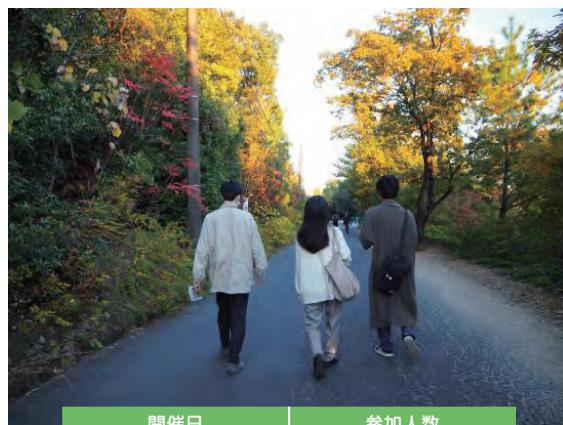
2022年11月18日(金) 16:30~18:30

夕方さんぽは、自分と話をしながら、また色々な人の話を聞きながら、すっきりあたたかい気持ちになるウォーキングイベントです。

トークテーマは、
「最近のマイブームは…」、「私の好きな映画は…」、「いまの私にとって大切な時間は…」などの自分自身に関する内容です。

毎月少しずつ内容を変えて飽きないように工夫しています。アンケートのご意見を参考にして、試行錯誤を繰り返しています。

この4月の夕方さんぽでは、初めての交流会も開かれ、ゆったりとした楽しい時間を過ごしました。今後もあたたかな居場所づくりに励みます。



開催日	参加人数
10月21日(金)	17名
11月18日(金)	20名
12月22日(木)	19名
1月20日(金)	13名
2月17日(金)	14名
3月17日(金)	9名

2022年10月に学生主導で発足した、自分のことを話しながら、また色々な人の話を聞きながら、すっきりあたたかい気持ちになるウォーキングイベントです。月に一度、16時半から18時半までの夕暮れ時に開催しています。話をすること、話を聞くこと、心を通わせて寄り添い分かち合うことで、あたたかな気持ちになることのできる場を提供しています。2022年度は、さまざまな学年や国籍の学生が延べ92名参加しました。参加者はチェックイン後に小グループに分かれて、夕方さんぽノートを手にとりトークテーマに沿って会話をしながら、大学内を自由に約1時間半、歩きまわります。トークテーマは、「最近のマイブームは…」、「私の好きな映画は…」、「いまの私にとって大切な時間は…」などの自分自身に関する内容です。毎月少しずつ内容を変えて飽きないように工夫しています。アンケートのご意見を参考にして、試行錯誤を繰り返しています。この4月の夕方さんぽでは、初めての交流会も開かれ、ゆったりとした楽しい時間を過ごしました。今後もあたたかな居場所づくりに励みます。

05 就活ミニ講座

就活ミニ講座は、就職相談員が学生のニーズに合わせたタイムリーなテーマで開催する少人数制のグループワークです。2012年度にスタートしました。テーマは、エントリーシートや面接、グループディスカッションなどとし、お昼の1時間、対面やオンライン（oVice）で、レクチャーを受け質問や相談ができる機会となっています。テーマを決めずに就活サロンという形で、就活に関して気になることを自由に相談できる集団相談会も開催しています。

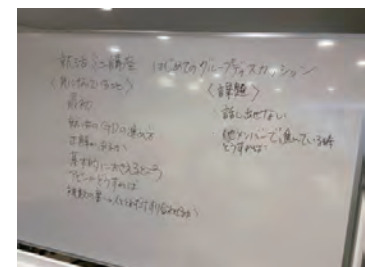
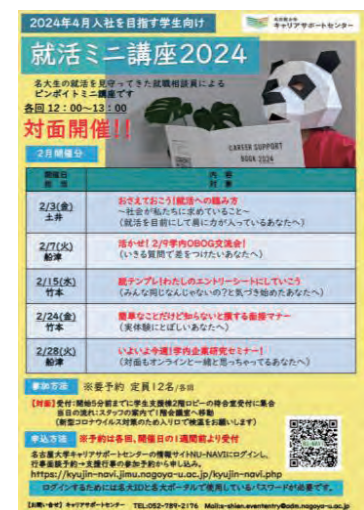
就活ミニ講座2023（2023年4月入社を目指す学生対象）

開催日・配信日	タイトル	開催形態	参加・閲覧人数
4月7日（木）	就活ミニ講座2023①（エントリーシート対策）	オンライン	7名
15日（金）	就活ミニ講座2023②（なんでも就活相談会）	オンライン	5名
20日（水）	就活ミニ講座2023③（面接対策）	オンライン	12名
26日（火）	就活ミニ講座2023④（なんでも相談会）	オンライン	4名
5月13日（金）	就活ミニ講座2023①（最終面接対策）	オンライン	5名
18日（水）	就活ミニ講座2023②（なんでも就活相談会）	オンライン	0名
26日（木）	就活ミニ講座2023③（なんでも就活相談会）	オンライン	3名
6月10日（金）	就活ミニ講座2023①（なんでも就活相談会）	オンライン	2名
22日（水）	就活ミニ講座2023②（なんでも就活相談会）	オンライン	0名
30日（木）	就活ミニ講座2023③（7月合同企業説明会攻略講座）	オンライン	4名
7月6日（水）	就活ミニ講座2023①（7月合同企業説明会攻略講座）	オンライン	5名
29日（金）	就活ミニ講座2023②（なんでも就活相談会）	オンライン	0名
8月10日（水）	就活ミニ講座2023（なんでも就活相談会）	オンライン	1名
9月27日（火）	就活ミニ講座2023（なんでも就活相談会）	オンライン	4名
10月12日（水）	就活ミニ講座2023（なんでも就活相談会）	オンライン	1名
11月1日（火）	就活ミニ講座2023（なんでも就活相談会）	オンライン	1名
12月1日（木）	就活ミニ講座2023（なんでも就活相談会）	オンライン	1名
4月7日（木）	就活ミニ講座2023①（エントリーシート対策）	オンライン	7名



就活ミニ講座2024（2024年4月入社を目指す学生対象）

開催日・配信日	タイトル	開催形態	参加・閲覧人数
5月25日（水）	就活ミニ講座2024（名古屋大学インターンシップ企業展のまわり方）	オンライン	32名
6月15日（水）	就活ミニ講座2024（インターンシップ企業展参加後のNext Action）	オンライン	11名
7月11日（月）	就活ミニ講座2024①（インターンシップ対策講座）	オンライン	7名
20日（水）	就活ミニ講座2024②（教えて先輩！）	オンライン	3名
8月25日（木）	就活ミニ講座2024（これからの就活進め方講座）	オンライン	10名
10月6日（木）	就活ミニ講座2024①（教えて先輩！）	対面	5名
18日（火）	就活ミニ講座2024②（自分の動き方を決めていこう！）	対面	5名
28日（金）	就活ミニ講座2024③（情報収集の実践）	対面	2名
11月9日（水）	就活ミニ講座2024④（業界研究セミナーデータブック活用術）	オンライン	5名
29日（火）	就活ミニ講座2024⑤（業界研究セミナー参加後の歩き方）	対面	0名
12月9日（金）	就活ミニ講座2024⑥（はじめてのエントリーシート）	オンライン	3名
16日（金）	就活ミニ講座2024⑦（はじめてのグループディスカッション）	オンライン	6名
22日（木）	就活ミニ講座2024⑧（オンライン選考にまつわる都市伝説。それほんと？）	オンライン	3名
1月13日（金）	就活ミニ講座2024⑨（面接に関わる心配事を今のうちに解消しよう！）	オンライン	8名
17日（火）	就活ミニ講座2024⑩（いよいよ本番！自己PR・ガクチカ、これで大丈夫！）	オンライン	1名
26日（木）	就活ミニ講座2024⑪（応募先を広げる？絞る？会社選びどうする？）	オンライン	4名
2月3日（金）	就活ミニ講座2024⑫（おさえておこう！就活への臨み方）	対面	4名
7日（火）	就活ミニ講座2024⑬（活かせ！2/9 学内OBOG交流会！）	対面	4名
15日（水）	就活ミニ講座2024⑭（脱テンプレ！わたしのエントリーシートにしていこう）	対面	4名
24日（金）	就活ミニ講座2024⑮（簡単なことだけど知らない！損する面接マナー）	対面	5名
28日（火）	就活ミニ講座2024⑯（いよいよ今週！学内企業研究セミナー！）	対面	5名
3月7日（火）	就活ミニ講座2024⑰（3月合同説明会、参加後の歩き方）	オンライン	13名
15日（水）	就活ミニ講座2024⑱（グループディスカッション体験会）	オンライン	4名
23日（木）	就活ミニ講座2024⑲（志望動機をサクサク書けるようになる！）	オンライン	6名
31日（金）	就活ミニ講座2024⑳（脱・受け身面接面接官の気持ちを体験しよう）	オンライン	7名



06 つながるマップ 2022

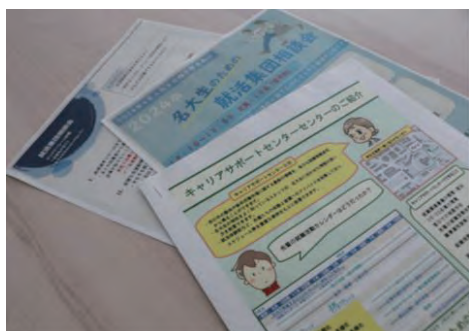


障害学生就労支援者研修会一つながるマップワークショップは、障害学生を取り巻く昨今の実態をふまえた上で、今後望ましい支援に向け、支援する者同士が知恵とネットワークを強化するための研修会です。12月8日（木）開催の研修会には、企業・障害者支援機関・大学から、障害学生就労支援者が32団体51名参加し、法政大学・眞保智子教授のご講演やグループワーク等を通じて、理解と連携を深めました。

07 キャリアイベント

開催日・配信日	タイトル	開催形態	参加・閲覧人数	対象者（対象学年等）
4月1日（金）	多元数理科学研究科の大学院入学ガイダンス	オンライン	—	多元数理科学研究科の大学院生
6日（水）	第1回B人セミナー「名古屋大学融合フロンティアフェロシップ・学振特別研究員申請書チェックセミナー第一弾」	オンデマンド資料とオンライン	2名	名大の博士前期後期課程で「名古屋大学融合フロンティアフェロシップ」に申請予定の人文社会系の学生
7日（木）	第1回B人セミナー「名古屋大学融合フロンティアフェロシップ・学振特別研究員申請書チェックセミナー第一弾」	オンデマンド資料とオンライン	14名	名大の博士前期後期課程で「名古屋大学融合フロンティアフェロシップ」に申請予定の留学生
12日（火）	大学院生のためのキャリアガイダンス（4月）	オンライン	6名	博士後期課程・ポスドク・後期課程への進学を検討中の前期課程の学生
19日（火）	第一回教員対策講座	オンライン	23名	教員志望生
21日（木）	大学院生のためのキャリアガイダンス（4月）	オンライン	7名	博士後期課程・ポスドク・後期課程への進学を検討中の前期課程の学生
27日（水）	キャリアガイダンス	オンライン	219名	全学年
5月11日（水）	インターンシップガイダンス	オンライン	167名	全学年
17日（火）	大学院生のためのキャリアガイダンス（5月）	オンライン	22名	博士後期課程・ポスドク・後期課程への進学を検討中の前期課程の学生
24日（火）	大学院進学座談会「博士課程進学のあれこれ」	オンライン	16名	博士前期課程・学部生
25日（水）	2022年度第1回博士後期のための就活前セミナー	オンライン	22名	博士後期課程2年生以上・ポスドク
27日（金）	企業と博士人材の交流会-事前説明会（対象:名大生）	ハイブリッド	169名	全学年
6月3日（金）	愛知県主催留学生向け夏季インターンシップ説明会	オンライン	32名	博士後期課程
4日（土）	インターンシップ企業展①	オンライン	約30名	国際学生
5日（日）	インターンシップ企業展②	オンライン	延べ446名	全学年（名大生・岐大生）
9日（木）	第1回B人セミナー「魅力的な研究PR動画を作ろう【基礎編】」	オンライン	延べ326名	全学年（名大生・岐大生）
15日（水）	インターンシップ事前研修	オンライン	28名	大学院生
16日（木）	大学院生のためのキャリアガイダンス（6月）	オンライン	96名	インターンシップ参加希望者
18日（土）	社会移行のための個別相談会	オンライン	2名	博士後期課程・ポスドク・後期課程への進学を検討中の前期課程の学生
6月23日（木）	第1回B人セミナー「魅力的な研究PR動画を作ろう【応用編】」	オンライン	16名	全学年
30日（木）	博士後期のための就活前セミナー+先輩就活体験を聞こう！	ハイブリッド	13名	博士後期課程
7月9日（土） 10日（日）	合同企業説明会 名古屋大学×トヨタシステムズワークショップ	オンライン 対面	20名 9日：17名 10日：18名	大学院生 全学年
8月8日（月）	第2回教員対策講座（個人面接）①	対面	延べ245名	名大及び東海地区の国公立大学の2023年3月卒業・修了予定者
9日（火）	第2回教員対策講座（個人面接）②	対面	9日：17名 10日：18名	全学年
10日（水）	名大生と企業の交流会	対面	5名	教員志望生
23日（火）	9月学内個別採用選考会事前対策講座①	対面	8名	教員志望生
30日（火）	9月学内個別採用選考会事前対策講座②	対面	27名	全学年
8月29日（月）～ 9月2日（金）	企業と博士人材の交流web交流の場企業編	オンライン	8名	2023年度卒業・修了予定者、既卒者
6日（火）	9月学内個別採用選考会事前対策講座③	オンライン	18名	2023年度卒業・修了予定者、既卒者
9日（金）	大学院進学座談会「博士課程進学のあれこれ」	オンライン	86名	博士前期・後期課程
13日（火）	大学院生のためのキャリアガイダンス9月	オンライン	27名	2023年度卒業・修了予定者、既卒者
13日（火）～ 15日（木）	9月学内個別採用選考会	オンライン	2名	博士前期課程・学部生
14日（水）	第8回B人セミナー「論文執筆ワークショップ①」	オンライン	3名	博士後期課程・ポスドク・後期課程への進学を検討中の前期課程の学生
15日（木）	第9回B人セミナー「論文執筆ワークショップ②」	オンライン	46名	2023年度卒業・修了予定者、既卒者
22日（木）		オンライン	85名	大学院生
		オンライン	76名	大学院生

開催日・配信日	タイトル	開催形態	参加・閲覧人数	対象者（対象学年等）
9月28日（水）	インターンシップ事後研修	オンライン	31名	全学年
29日（木）	就活ミニ講座理系1・2・3年生	対面	11名	理系学部1・2・3年生
30日（金）	大学院進学座談会「博士課程進学のおあれこれ」	オンライン	23名	博士前期課程・学部長
10月4日（火）	第10回B人セミナー「レジリエンス・トレーニングセミナー」	オンライン	89名	大学院生・ポスドク
6日（木）	大学院生のためのキャリアガイダンス10月	オンライン	6名	博士後期課程・ポスドク・後期課程への進学を検討中の前期課程の学生
12日（水）～ 13日（木）	就職ガイダンス	オンライン	78名	全学年
12日（水）～ 13日（木）	企業と博士人材の交流会ミニセミナー	オンライン	16名	大学院生
18日（火）	春季留学生インターンシップ説明会	対面	40名	留学生
18日（火）	第11回B人セミナー「専門メディア業界を知ろう」	オンライン	38名	大学院生・ポスドク
19日（水）	留学生出前ガイダンス（工学・環境学）	オンライン	18名	留学生
20日（木）	博士後期の就活前セミナー	オンライン	24名	大学院生・ポスドク
26日（水）	就活準備講座①（企業の探し方講座）	オンライン	64名	全学年
28日（金）	博士の人材コンソーシアムシンポジウム	オンライン	—	大学院生・教職員
11月8日（火）	日本企業理解講座①日本企業で働くとは	オンライン	22名	国際学生
11日（金）	第11回B人セミナー「外資系企業を知ろう」	オンライン	49名	大学院生・ポスドク
12日（土）	第9回博士のキャリアパスウェビナー	オンライン	33名	学部生・大学院生・ポスドク
15日（火）	就活ミニ講座B4・M2（気持ちを切り替えて就活を始めよう）	オンライン	2名	2023卒→2024卒に決めた留年・休学学生
15日（火）	日本企業理解講座②日本企業の「人事」の考え方	オンライン	11名	国際学生
16日（水）	就活準備講座②（業界研究の進め方・総合職編）	オンライン	45名	全学年
17日（木）	資格業ガイダンス	対面	13名	全学年
17日（木）	大学院生のためのキャリアガイダンス11月	オンライン	3名	博士後期課程・ポスドク・後期課程への進学を検討中の前期課程の学生
22日（火）	日本企業理解講座③ライフイベントと社会保険	オンライン	17名	国際学生
24日（木）	就活準備講座③（業界研究の進め方・研究職、技術職編） 第3回博士の交流サロン	オンライン	38名 6名	全学年 大学院生・ポスドク
25日（金）	Career Discovery（ジェトロ主催）	オンライン	90名程度申込み	学部生・大学院生・ポスドク
26日（土） 27日（日）	業界研究セミナー	オンライン	延べ403名	全学年
29日（火）	日本企業理解講座④知っておきたい<サバイバル>ビジネスセミナー	オンライン	7名	国際学生
12月2日（金）	留学生出前ガイダンス（人文学・法学・経済学研究科）	オンライン	15名	国際学生
3日（土）	官公庁研究セミナー	対面	93名	全学年
7日（水）	就活実践講座（応募書類ブラッシュアップ講座） 第3回博士の交流サロン～キーワードは“海外”～	オンライン 対面	33名 8名	全学年 大学院生
20日（火）	1月学内個別採用選考会事前対策講座①	オンライン	8名	2023年度卒業・修了予定の未内定者、既卒者
1月11日（水）	1月学内個別採用選考会事前対策講座② 第1回メンター交流会	オンライン 対面	17名 23名	2023年度卒業・修了予定の未内定者、既卒者 大学院生・ポスドク
17日（火）	大学院生のためのキャリアガイダンス1月	オンライン	1名	博士後期課程・ポスドク・後期課程への進学を検討中の前期課程の学生
18日（水）	オンライン講座名大生のための学業と就活の両立方法 第13回B人セミナー「大学院生向け「人生とお金の知恵」～40歳まで、必ず役に立つ金融リテラシー～	オンライン オンライン	21名 113名	2024年4月入社を目指す学生 大学院生・ポスドク
23日（月） 24日（火）	1月学内個別採用選考会	オンライン	延べ27名	2023年度卒業・修了予定の未内定者、既卒者
2月9日（木）	OBOG・若手社員交流会 公務員志望生向けOB・OG交流会	オンライン オンライン	69名 51名	2024年3月卒業・修了予定の学生 全学年
16日（木）	社会人スタートアップ講座新社会人が身につけておきたいマナーリテラシーの基礎講座	オンライン	47名	全学年
17日（金）	大学院生のためのキャリアガイダンス2月	オンライン	2名	博士後期課程・ポスドク・後期課程への進学を検討中の前期課程の学生
18日（土）	シンポジウム「博士へのトビラ」	オンライン	申込者125名	全国の大学院生・学部生・高校生・保護者
21日（火）	社会人スタートアップ講座身だしなみ・メイク講座	オンライン	32名	全学年
22日（水）	障害学生就職ガイダンスPARTⅡ障害者雇用、実際の働きかた	オンライン	学生5名、 父母等4名、 教職員3名	全学年・障害がある学生、診断がある学生、自身の特性に不安のある学生、父母等、教職員
24日（金）	社会人スタートアップ講座新社会人のための雑談力講座	オンライン	40名	全学年
3月3日（金） 4日（土） 5日（日）	企業研究セミナー2023	対面	3日：416名 4日：314名 5日（1部のみ）：110名	2024年3月卒業・修了予定の学生



08 共修プログラム

スモールワールド・コーヒーアワー

スモールワールド・コーヒーアワーは、キャンパスにおいて、在学生が学部や学年を越え、つながることのできる国際交流の場として展開しています。共修推進部門と連携しながら学生メンバーが主体的に運営や企画に関わっています。2022年度は、ボードゲーム、うちわ作り、Speed Meeting、書道・年賀状作り、スポーツディなどを実施しました。



プレゼンテーションアワー

2022年10月と2023年3月にプレゼンテーションアワーを開催しました。学生のプレゼンテーション能力を高めること、国際的なアカデミックな交流の場を創出して、学生間のネットワークを構築することを目的としています。卒業生のプレゼンターにも協力していただき、現役生と卒業生の交流の場としても機能を果たしています。



にほんごカフェ

夏休みや春休みなどの長期休業期間中に、留学生と一般学生が日本語を用いて対話し、楽しめるような機会を提供しています。学生ファシリテーターがグループディスカッションを促す役割を果たしています。参加学生は、日本語の練習の機会、海外や多様性に対する視野を広げる機会となっています。

Nagoya University
Nihongo Cafe

名古屋大学
にほんごカフェ

春休みに、名古屋大学学生の皆さんで国際交流してみませんか？
毎回、参加者間で自己紹介して、気軽に話して、ほっとできるような時間を
作りたと思っています。主に日本語を使いますが、お互いにサポートしあいな
がら進める予定です。話すテーマは、食べ物、旅、好きなこと、学生生活の一日
などを予定しています。
ご参加お待ちしております！

Let's have intercultural exchange gathering opportunities by using Japanese
language with Nagoya University students during spring break!
We would like to have a relaxing time where participants can introduce
themselves to each other, and talk casually. We will mainly use Japanese, but
will support each other. The topics we talk will be food, traveling, favorite
things, and a day of student life and so on.
We look forward to your participation!

3/8(Wed) 1回からでも
3/13(Mon) 参加できます！
3/15(Wed) Can participate
14:00-16:00 from one session
to all four sessions!

言語：日本語（必要に応じて英語も使います）
Language: Mainly Japanese, English is
used as needs

参加費：無料 Fee: Free

形式：対面（東山キャンパス国際棟）
Format: In person, International Bldg.
Higashiyama Campus

定員：10名程度
Capacity: 10 students each session

申し込み
Registration

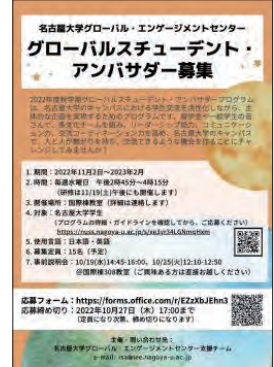
申込締め切りは
開催日の4日前までです。
Registration deadline is
4 days before each event.

<https://forms.office.com/r/1qC5h9CURW>

問い合わせ/inquiry:
名古屋大学グローバル・エンゲージメントセンター支援チーム
Global Engagement Center Support Team, Nagoya University
isa@iee.nagoya-u.ac.jp

グローバルスチューデント・アンバサダープログラム

コロナ禍において、キャンパス内における共修の機会を増やすため、留学生と一般学生が協働で国際交流の活動を提供する学生アンバサダープログラムを展開しました。アンバサダーとなった学生たちは研修を受けた後、多文化チームに分かれ、コロナ禍により多くの学生たちが交流でき、多文化を学ぶことのできるイベントを実施しました。



部活・サークルの国際化に向けて

TIPS on NAGOYA UNIVERSITY CLUBS & CIRCLES

名古屋大学の部活・サークルについて知ろう

部活とは？サークルとは？

文化サークル運営 (=文化サークル) 体育会

名古屋大学には、この大学に国際化の取り組み、多くの国際化や文化活動を行うサークルが数多くあります。

部活・サークルの探し方

名古屋大学国際化推進センター (国際化推進センター) 国際化推進センター

連絡方法

名古屋大学国際化推進センター (国際化推進センター) 国際化推進センター

BUKATSU=club, SAKURU=circle

Federation of Liberal Art Circles and Athletic Association

Finding a club/circle

名古屋大学国際化推進センター (国際化推進センター) 国際化推進センター

よくある質問 FAQ

Q1: 部活・サークルの探し方について

Q2: 部活・サークルの活動内容について

Q3: 部活・サークルの参加費について

Q4: 部活・サークルの活動場所について

Q5: 部活・サークルの活動時間について

Q6: 部活・サークルの活動人数について

Q7: 部活・サークルの活動内容について

Q8: 部活・サークルの活動場所について

Q9: 部活・サークルの活動時間について

Q10: 部活・サークルの活動人数について

その他プログラム・共修イベントなど

ALWAYS NU

いつもあなたの味方です！

ALWAYS NUには以下のようなコンテンツを掲載しています

Arrival

入学前～入学後の情報

Life at NU

名古屋大学でのキャンパスライフ

Living Guide

一般生活で役立つ情報・生活ルールなど

インドネシア語 インドネシア文化

“言語を通じて文化に触れる” オンラインワークショップ

講師: エル アマンダ デ ユリ アッラファジャール

開催日時: 13:10-14:30

インドネシア語: 2023年2月15日(水)

インドネシア文化: 2023年2月16日(木)

SPORTS DAY

バレーボール バドミントン、フリスビー

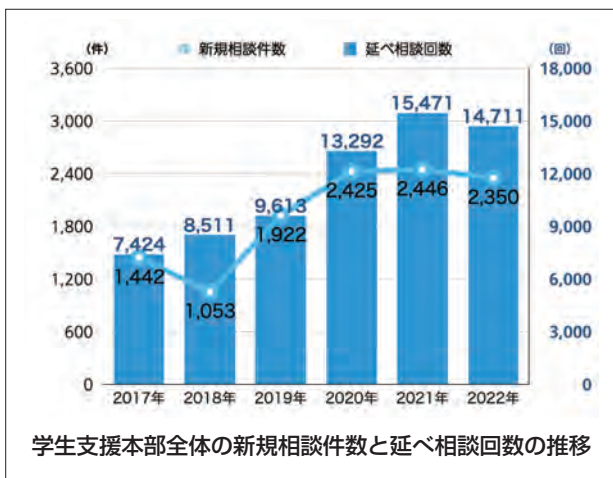
留学生も一般学生も大歓迎!

2023年2月21日(火) 14:00-16:00

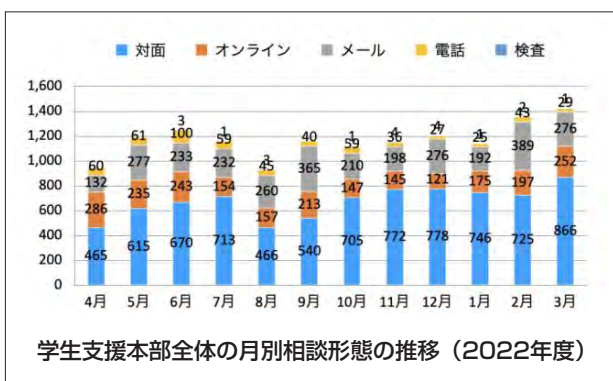
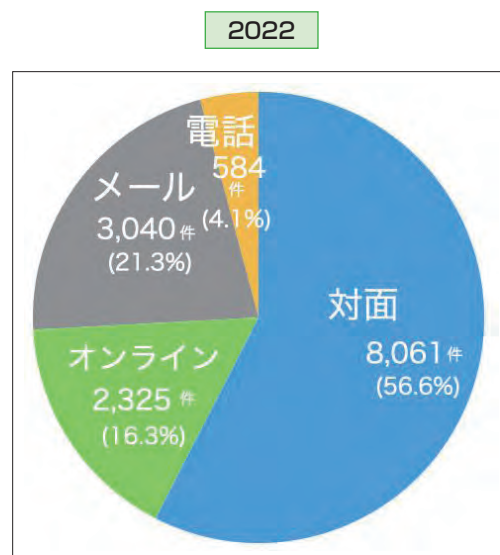
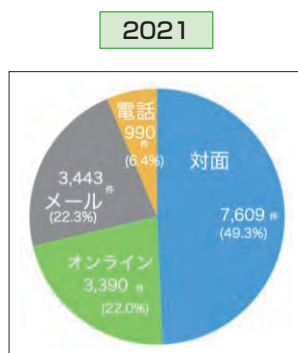
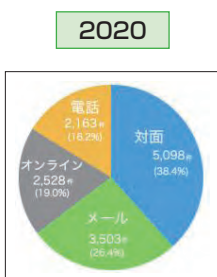
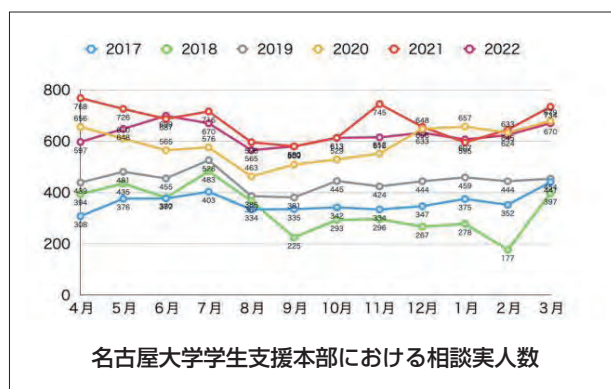
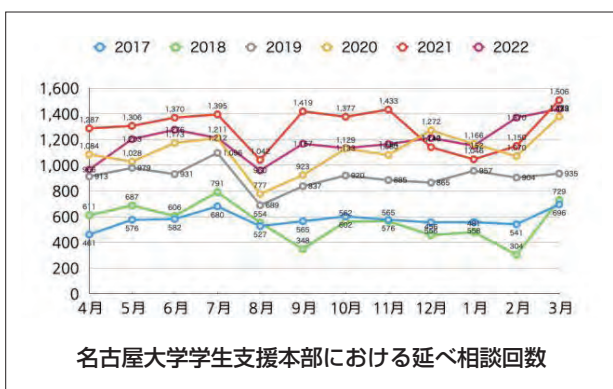
第1体育館 東山キャンパス

3 次 支 援

01 学生支援本部総計



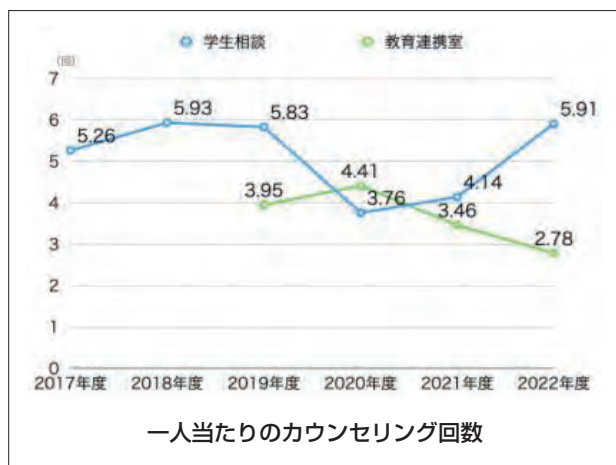
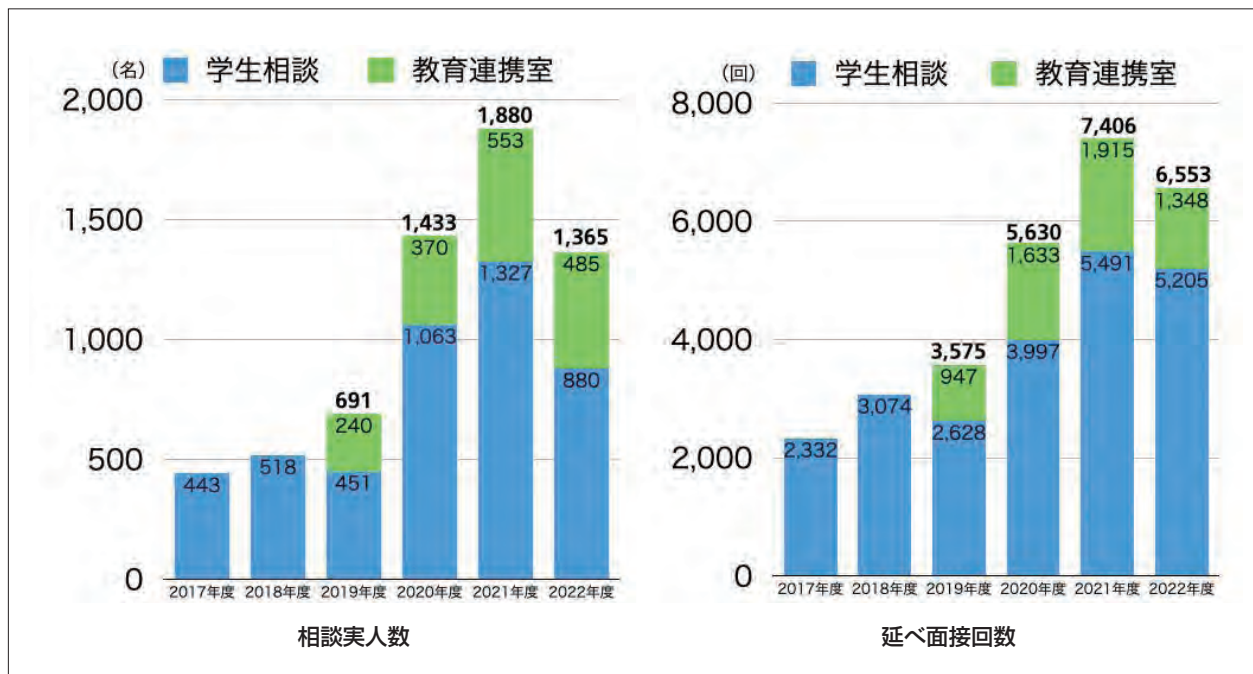
新規相談申込は全学生の14.8%
延べ相談回数は7.9%減(前年度比)



顔の見える相談形態(対面・オンライン)が
約4分の3(前年度と同じ傾向)

02 学生相談センター

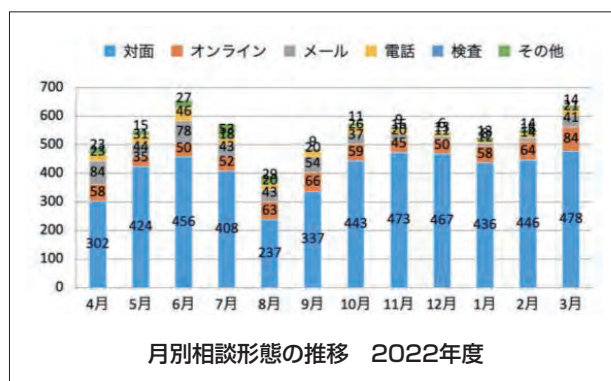
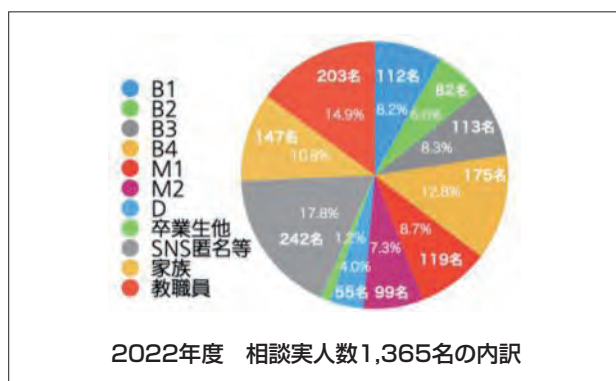
カウンセリング部門



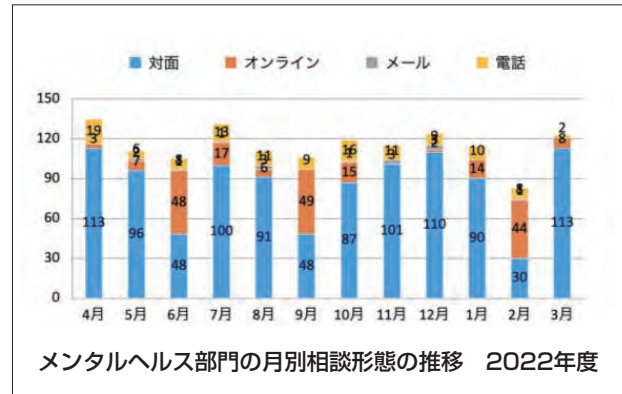
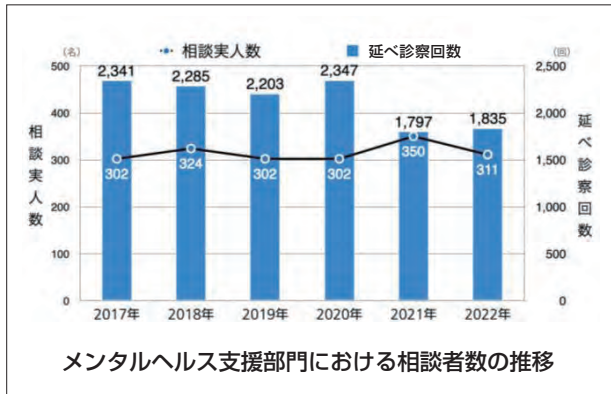
2021年度をピークに相談は落ち着く

家族や教職員が学生の相談をする
教育連携室は
カウンセリング部門の約2割
(延べ面接回数)

学生利用率と教職員利用率は
共に全体の6.3%



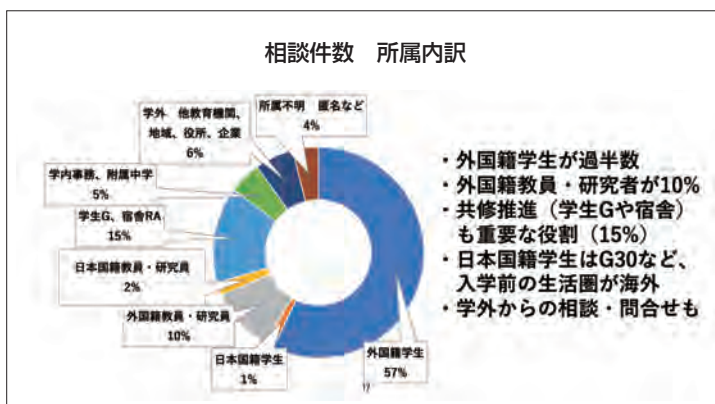
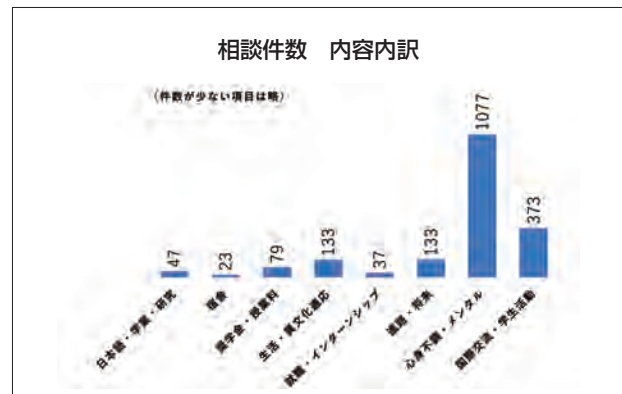
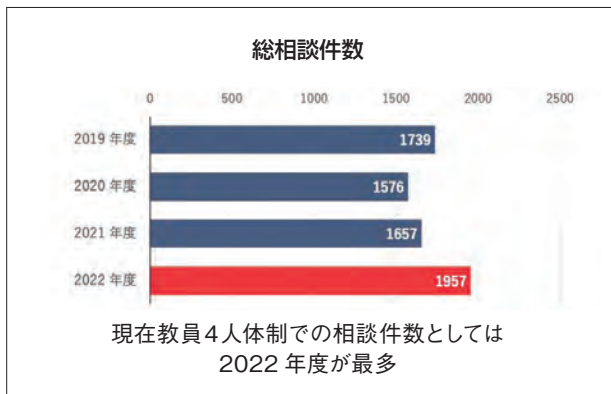
メンタルヘルス支援部門



相談実人数は2021年度をピークにやや減少

延べ診察回数は減少維持

共修推進部門



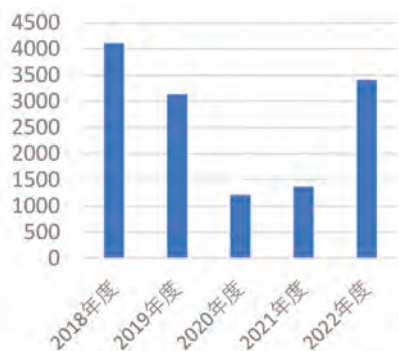
共修推進部門の活動報告は、国際本部グローバル・エンゲージメントセンター年報に、詳細を掲載しています。

7.2%の留学生が利用
新規申込の約30%は学生支援本部経由

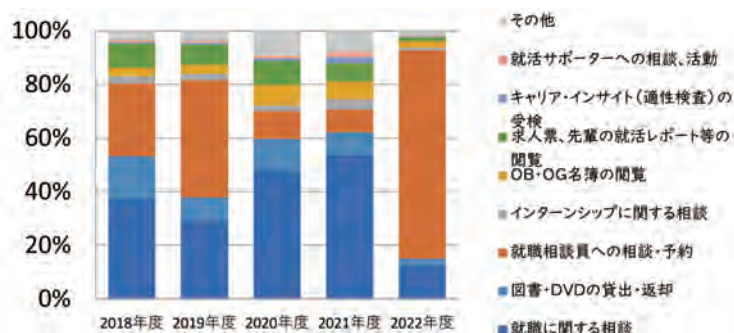
03 キャリアサポートセンター

就職支援部門

来室数

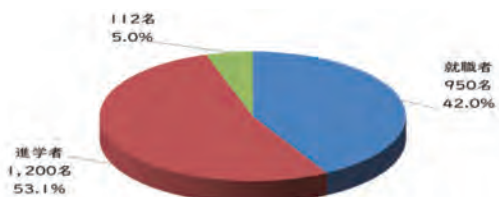


来室目的別割合

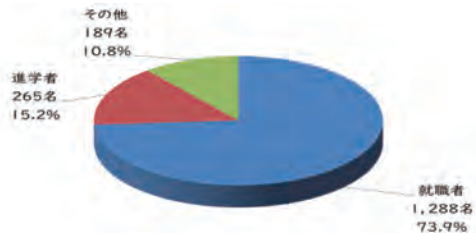


全学生(留学生含む)

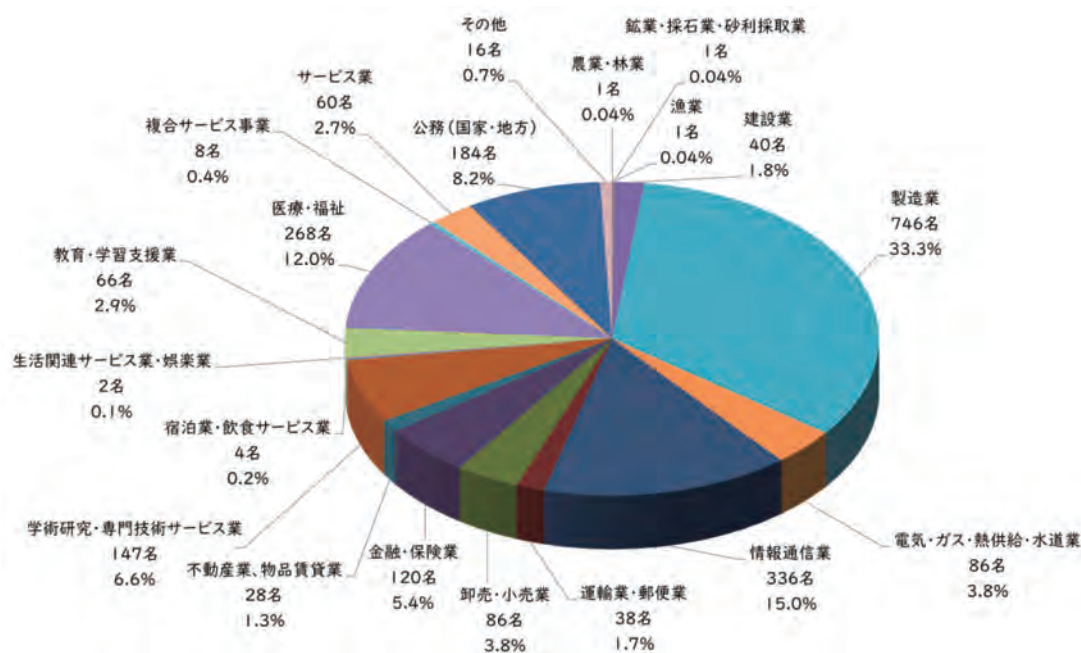
学部卒業生進路状況



博士前期課程修了生進路状況

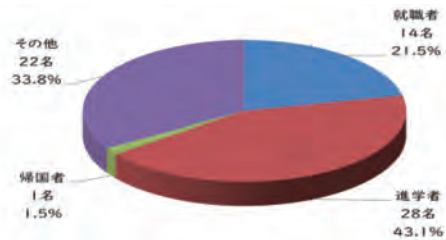


産業別集計(学部・博士前期課程 合計)

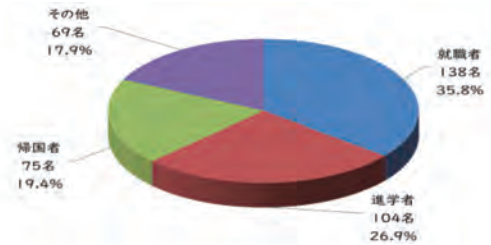


留学生

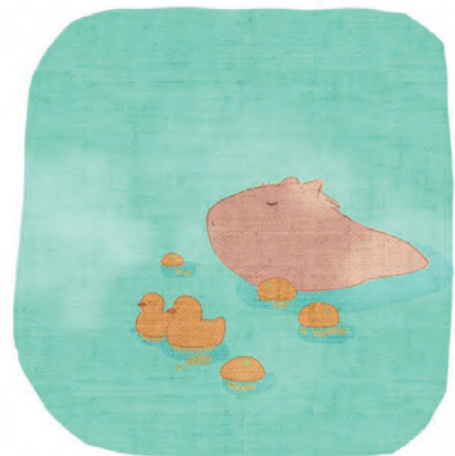
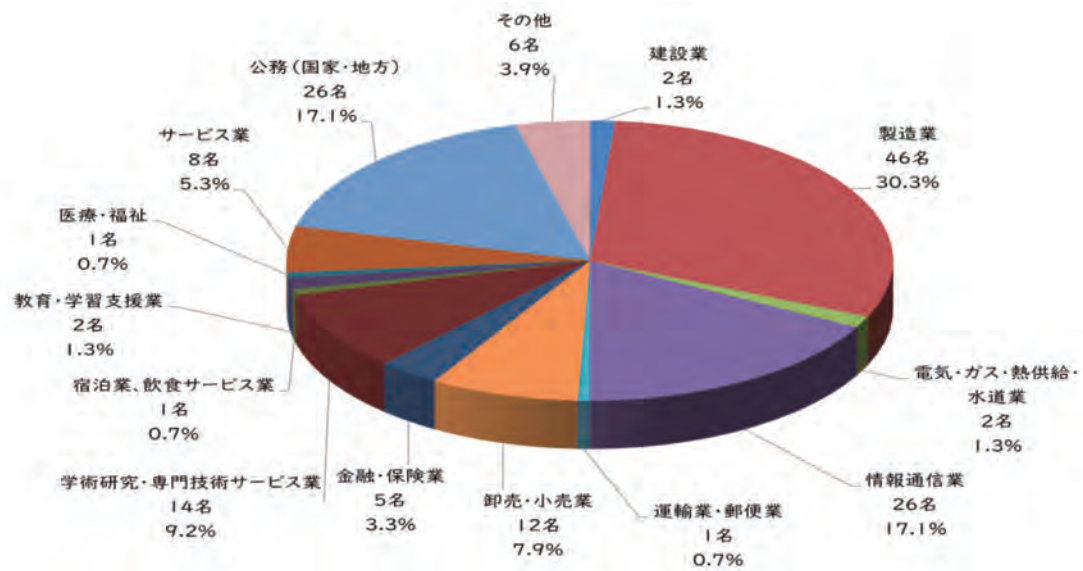
学部卒業生進路状況



博士前期課程修了生進路状況

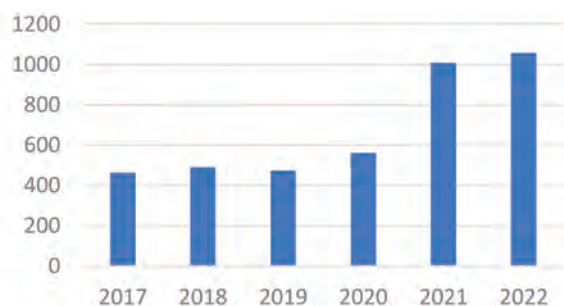


産業別集計（学部・博士前期課程 合計）

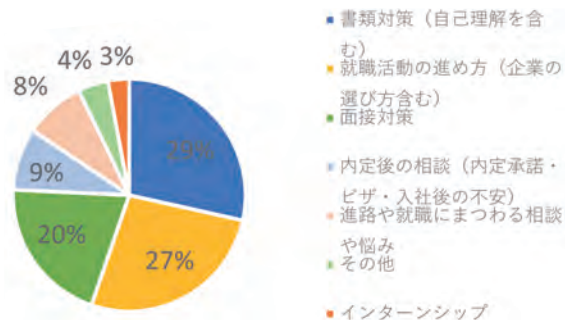


国際キャリア支援部門

留学生就職相談件数推移



相談内容



就職キャリア相談部門

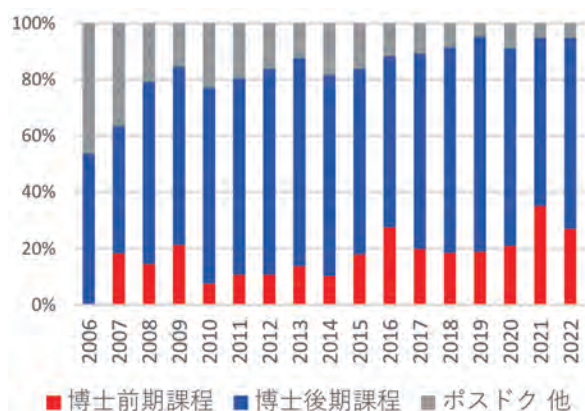


新規相談件数と延相談回数の推移



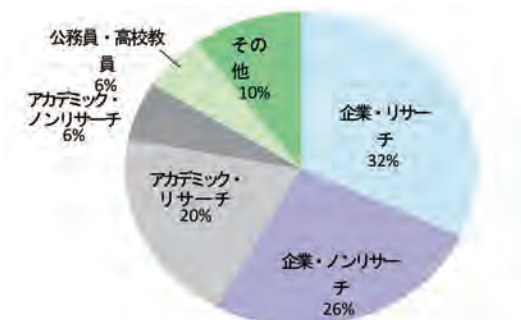
2022年度の相談状況

博士人材キャリア育成部門



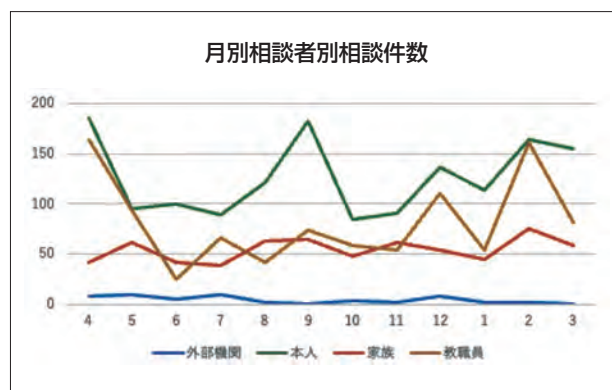
利用者の内訳

2006年から本部門を利用した博士人材のキャリアパス

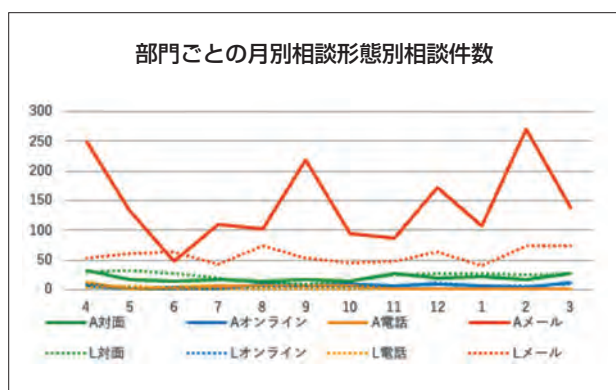


リサーチ:これまでの研究の延長上にある職(多くは研究職)
 ノンリサーチ:これまでの研究の専門以外の職(異業種、異分野)
 ⇒研究生活で培った力で、多彩な場で活躍しています

04 アビリティ支援センター



- ・ 学生の相談件数（全体の47.2%）は2021年度に比べて微減（1641件→1517件）。家族からの相談（全体の20.3%）、および教員との相談（全体の30.5%）は増加。全体として昨年度を上回る相談件数。
- ・ 4月の新規申込みは2021年度の2倍以上
- ・ 合理的配慮の申請は年間55名（21名が発達障害のある学生、20名精神障害のある学生）。発達障害のある学生の割合が減り、不安障害、過敏性腸症候群など、不安や緊張に対する脆弱さを抱える学生からの申請が増加傾向
- ・ 難病やそれに伴う入院などを必要とする学生から、オンライン受講などの申請も。



- ・ 対面やオンラインは本格的な相談。相談の多くは対面。
- ・ オンライン相談は、体調不良時や講義等もオンライン時、あるいは通学困難時などで活用、新しい相談のチャンネルとして定着。
- ・ メール相談は問い合わせや簡単な確認事項が中心。
- ・ 最も多い相談形態はメール。各種リマインド、合理的配慮等に関するフォロー、保護者からの連絡、および教職員との連携時に基本的なチャンネルに。

月別部門ごとの相談者・相談形態別相談件数

	対面	オンライン	電話	メール
修学支援				
本人	200	51.5	14.5	681.5
家族	16.5	6.5	20	213.5
教職員	28.5	14.5	14.5	819.5
外部機関	0.5	0	2	19.5
ライフデザイン支援				
本人	259	49.5	5.5	233.5
家族	11.5	14.5	15	353.5
教職員	4.5	6.5	0.5	90.5
外部機関	1.5	4	3	17.5

- ・ 修学支援部門での相談が大部分。メールを通じた問い合わせ、確認が多い。
- ・ 修学支援部門において教職員との相談が多い。
- ・ ライフデザイン支援部門では、本人からの対面相談が多い。対面相談では、自分の特性の理解、生活の仕方や対人関係の課題、あるいは社会での生き方などが話題に。

就労支援ミーティングの共催

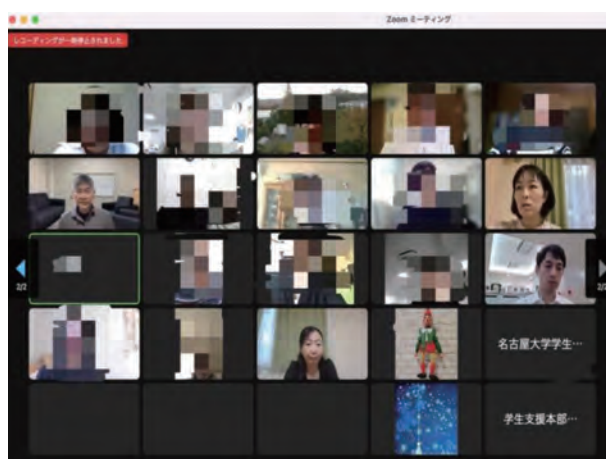
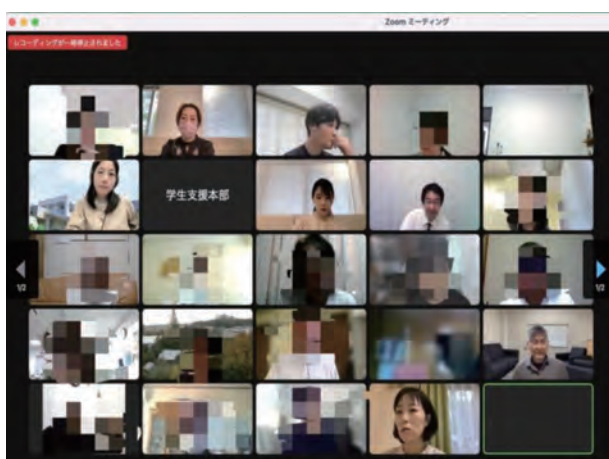
キャリアサポートセンターからの提案を受け、障害のある学生の修学支援から就労支援への橋渡しをするためのミーティングを不定期に実施しています。キャリアサポートセンターで行う障害のある学生を対象としたイベントについての情報共有と、そうしたイベントへのアビリティ支援センターからの参加、それを通じた障害者雇用についての企業の意識や動向の共有を行っています。また、両方のセンターを利用している学生もあり、その情報共有の場ともなっています。

家族や卒業生との連携

01 ホームカミングデイ企画

2022年10月15日（土）15～17時、ホームカミングデイにおいて「本音で話そう、語ろう『ほっとチャット』」をオンラインにて開催しました。26名の保護者と20名の学生及び卒業生が参加しました。

家族の本音、大人になった名大生の本音、にじみ出る本音をキャンパスで語ろう「保護者×在学生『伝えたい本音』の部屋」「卒業生×在学生『ワーク&ライフあるある』の部屋」で保護者・卒業生が在学生との交流を通じて日頃の思いや本音を共有しました。



学生支援本部親の会

3月
19

学生支援本部を利用されている
ご家族の皆様

2022年10月のホームカミング
ディ企画に続き、親の会を開催
いたします。これまでのこととこれ
からのことを同じ境遇にあるご家
族の方々と共有していただける機
会になればと思っています。直接
名大生支援本部にお越しいただ
いても、オンラインでも参加いた
だけます。みなさまのご参加をお
待ちしております。

親の会 開催します

2023年3月19日(日) 午前10～12時

QRコードまたはメールで
お申し込みください

soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp

オンライン参加の方

ZoomミーティングのURLを参加登録さ
れたメールアドレスに送附します

名大参加の方

名古屋大学学生支援本部へ直接申し込み

アビリティ支援センター親の会

昨年度始まった発達障害のある学生の父母の会を今年度も引き続き開催しました（第4月曜日の10：00～11：00）。好評につき、途中から時間を60分から90分に延長しました。また参加者も最大8名を数えるほどになりました。各回4、5人の父母が参加しています。

片づけができない、日常生活ができないといった一人暮らしの困難、それに対して家に行き手伝うことが友人や親族などから甘えさせていると言われることについての迷いが語られたり、留学や休学の功罪、親子のコミュニケーションがなかなか取れないために苦労していることなどが語られました。

2年目となる2022年度は、ホームカミングデイが一部対面で開催されたことに合わせて、大学に集合し、参加者だけで大学見学を行い、昼食に出かけるなど、交流の場を持ったようでした。子どもの状況は改善が見られにくくとも、親同士が支え合い、助け合う関係ができているようでした。

02 ワタリニフネ（同窓会支援事業）



ワタリニフネは、名古屋大学卒業生がキャリアや人生について、安心してインタラクティブにやりとりをするための、SNS プラットフォームです。ライフキャリアにおいて、自分らしく、幸せであるために、人生の要所要所で互いに応援しあえるネットワーク、まさに「ワタリニフネ」を目指しています。

在学生もこのネットワークに参加することで、先輩たちのやりとりを見聞したり、質問することができ、将来を考える機会を得ることができます。現在、月一回程度、SNS上で「異業種交流会」「幸せについて考える」「先輩に聞いてみよう」「ライフイベント」など、キャリアに関する様々な交流会が、開催されています。（この事業は名古屋大学全学同窓会の大学支援事業に選定されています）



ID 検索：@ 735hmqec

社会贡献他

01 講義

科目名称	対 象	担 当
「大学での学び」基礎論より「大学の歩き方」(対面3回)	全学教育、学部新入生必修	学生支援本部：スタッフ全員
青年期を考えるー心の健康と将来展望ー	全学教育	学生支援本部：スタッフオムニバス
大学でどう生きるか	全学教育	鈴木 健一（学生相談） 船津 静代（就職キャリア相談）
キャリア形成論	全学教育	森 典華（博士人材キャリア支援） 船津 静代（就職キャリア相談）
基礎セミナー	全学教育	鈴木 健一・杉岡 正典（学生相談）
健康・スポーツ科学講義（精神健康医学）	全学教育	（オムニバスのうち一部） 古橋 忠晃（メンタルヘルス支援）
海外言語文化演習（フランス1）	全学教育	（オムニバスのうち一部） 古橋 忠晃（メンタルヘルス支援）
キャリアデザイン演習	教育学部	（オムニバスのうち一部） 船津 静代（就職キャリア相談）
学校心理学Ⅱー力動的的心理療法の基礎ー	教育発達科学研究科	杉岡 正典（学生相談）
学校心理学Ⅱー精神分析臨床ー	教育発達科学研究科	鈴木 健一（学生相談）
プロフェッショナル・リテラシー	大学院共通	（オムニバスのうち一部） 森 典華（博士人材キャリア支援）・ 船津 静代（就職キャリア相談）・ 鈴木 健一（学生相談）・松本 寿弥（教育連携）・ 酒井 崇（共修推進）
エンプロイアビリティ	大学院共通	森 典華（博士人材キャリア支援） 船津 静代（就職キャリア相談）
特殊講義（法政実習Ⅰ）キャリア形成	法学部	（オムニバスのうち一部） 船津 静代（就職キャリア相談）

02 講演

日 程	タイトル	対 象	講演者
6月10日	Hikikomori en France et au Japon : maladie ou mode de vie ? (フランス・ストラスブール)	市民講座	古橋 忠晃
6月16日	L'actualité psychiatrique des Hikikomori en France et au Japon: maladie ou mode de vie ? (フランス・ニース)	フランス語圏の医療従事者	古橋 忠晃
6月29日	Thérapies de groupe pour les jeunes Hikikomori (フランス・パリクレティユ)	医療従事者	古橋 忠晃
9月2日	Thérapie familiale pour les jeunes Hikikomori (フランス・ストラスブール)	医療従事者	古橋 忠晃
9月3日	全国大学生生活協同組合連合会主催全国教職員セミナー「新型コロナ禍期における、学生のメンタルのありようと食堂の意義」	全国大学生生活協同組合連合会会員他	鈴木 健一
9月13日	Le phénomène du Hikikomori globalisé ou "retrait social" en France et au Japon : historique et données actuelles (フランス・ナント)	医療従事者	古橋 忠晃
9月14日	キャンパスにおけるゲートキーパーの役割とその重要性：教職員のチームとしてできること（びわ湖東北部地域連携協議会）	大学教職員	松本 寿弥
10月4日	Le phénomène du Hikikomori globalisé ou "retrait social" en France et au Japon : historique et données actuelles (フランス・ミュルーズ)	医療従事者	古橋 忠晃
10月25日	日本のひきこもり支援、フランスのHikikomoriシエンーひきこもりは病気が生き方かー（静岡市こころの健康センター）	静岡シチズンカレッジこ・こ・に（ひきこもりサポーター養成講座、こころのバリアフリープロモーター育成講座）受講者	古橋 忠晃
11月19日	第6回若者支援フォーラム2022大学から就労支援、そして就労へ名古屋大学学生支援本部の取り組み	障害者就労支援関係者	船津 静代 竹本 美穂
11月20日～21日	緊急対応、自殺防止、ポストベンションの考え方と実践（第60回全国学生相談研修会）	学生相談従事者	杉江 征 杉岡 正典
11月29日	フランスにおけるひきこもり臨床活動報告（名古屋市）	医療従事者	古橋 忠晃
12月4日	スマイル！こころの絆創膏デー2022「わたしも悩んでいます」子ども・若者オンライン座談会	子ども・若者	松本 寿弥 (コメンテーター)
12月12日	これからの学生生活をともに考え、見守る研究会『学生相談から見えるコロナ禍の学生の心身の健康と支援課題』	学生教職員、大学生協、大学関係者、メディア	鈴木 健一

日 程	タイトル	対 象	講演者
12月14日、 1月18日	今ドキ就活生と大学のリアルを知る	東海地区企業若手採用担当者	船津 静代
1月22日	Hikikomori globalisé ou "retrait social" et troubles psychiatriques concernés en France et au Japon (フランス領ポリネシア・タヒチ)	市民講座	古橋 忠晃
2月2日	Hikikomori en France et au Japon : maladie ou mode de vie ? -Est-ce qu' ils vont avoir un jour envie de se suicider ? (フランス・ブリーブ・ラ・ガイアルド)	市民講座	古橋 忠晃
2月2日	Le phénomène du Hikikomori globalisé ou "retrait social" en France et au Japon : historique et données actuelles (フランス・ブリーブ・ラ・ガイアルド)	看護学校生	古橋 忠晃
2月3日	Le phénomène du Hikikomori globalisé ou "retrait social" en France et au Japon : historique et données actuelles (フランス・リモージュ)	医学部生	古橋 忠晃
2月20日	愛知県留学生交流推進協議会講演会「名古屋大学における留学生就職支援の現状と課題」	愛知県内大学、官公庁、経済団体、社団法人等	佐藤 幸代

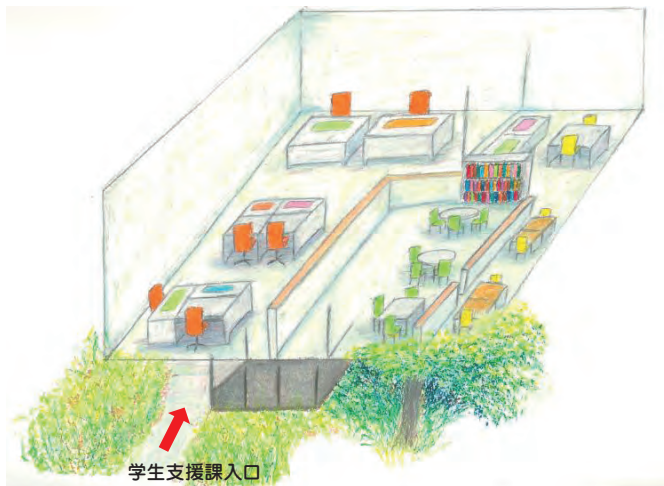
03 メディア

日 程	タイトル	媒 体
4月19日	大学のコミュニティ再生	日本経済新聞
8月17日	裏オープンキャンパス隠れた"名物"発見！	中日新聞
12月3日	Withコロナの就活第3回	朝日新聞デジタル
1月22日	Syndrome de l'isolement : se retirer de la société par choix	テレビpolynésie1LE JOURNAL (タヒチ)
1月23日	"HIKIKOMORI" un phénomène qui touche aussi le fenua	テレビTahiti Nui TV LE JOURNAL (タヒチ)
1月24日	"HIKIKOMORI" SYNDROME DE LA SOLITUDE	テレビpolynésie 1LE JOURNAL (タヒチ)
2月1日	Les enfermés volontaires	新聞LA MONTAGNE (フランス・ブリーブ・ラ・ガイアルド)
2月20日	日仏でひきこもり支援に尽力する精神科医が重視する「問い」とは—古橋忠晃「ひきこもり」と「ごみ屋敷」—国境と世代をこえて—	インターネットYahoo!ニュース https://news.yahoo.co.jp/articles/cb51a7410da7b86338c7831daf6b572e20b82a70



学生支援棟案内図

学生支援棟 1F



学生支援棟 2F



学生支援棟 3F



(2022年4月)

学生支援本部スタッフ一覧

(2023年4月1日現在)

学生支援本部スタッフ

本部長 佐久間淳一（副総長、学生支援担当）
副本部長 鈴木健一

学生相談センター

カウンセリング部門	教授（承）鈴木健一 [○]	准教授（承）杉岡正典	助教 林陽子
	学術専門職 小橋亮介		
教育連携室	学術主任専門職 松本寿弥	学術専門職 石田幸子	
	学術専門職 織田万美子（産育休中）		
	学術専門職 藤田真紀子	学術専門職 大塚毬絵	
メンタルヘルス支援部門	准教授 古橋忠晃	助教 長島渉	助教 横井綾
共修推進部門（兼任）	教授（承）田中京子	特任准教授 高木ひとみ	特任准教授 酒井崇
	特任講師 和田尚子		

キャリアサポートセンター

就職支援部門（兼任）	教授（承）土井康裕 [○]
就職キャリア相談部門	准教授 船津静代
博士人材キャリア育成部門（兼任）	助教 竹本美穂
国際キャリア支援部門	特任准教授 森典華
	学術専門職 佐藤幸代

アビリティ支援センター

修学支援部門	准教授 工藤晋平 [○]	相談員 伊藤芳明
ライフデザイン支援部門	障害者支援専門職 井手原千恵	

非常勤カウンセラー

学生相談センター				
カウンセリング部門	リママユミ	二宮有輝	樺山絵美	村井史香
キャリアサポートセンター				
就職キャリア相談部門	栗原りえ			
アビリティ支援センター				
修学支援部門	吉田奈央			
総合受付				
アビリティ支援センター受付	大江美希			
カウンセリング部門受付	美濃屋梓			
	吉田典子			

* ○：センター長
（承）：承継枠教員ポスト

